



We Serve

The International Association Of Lions Clubs

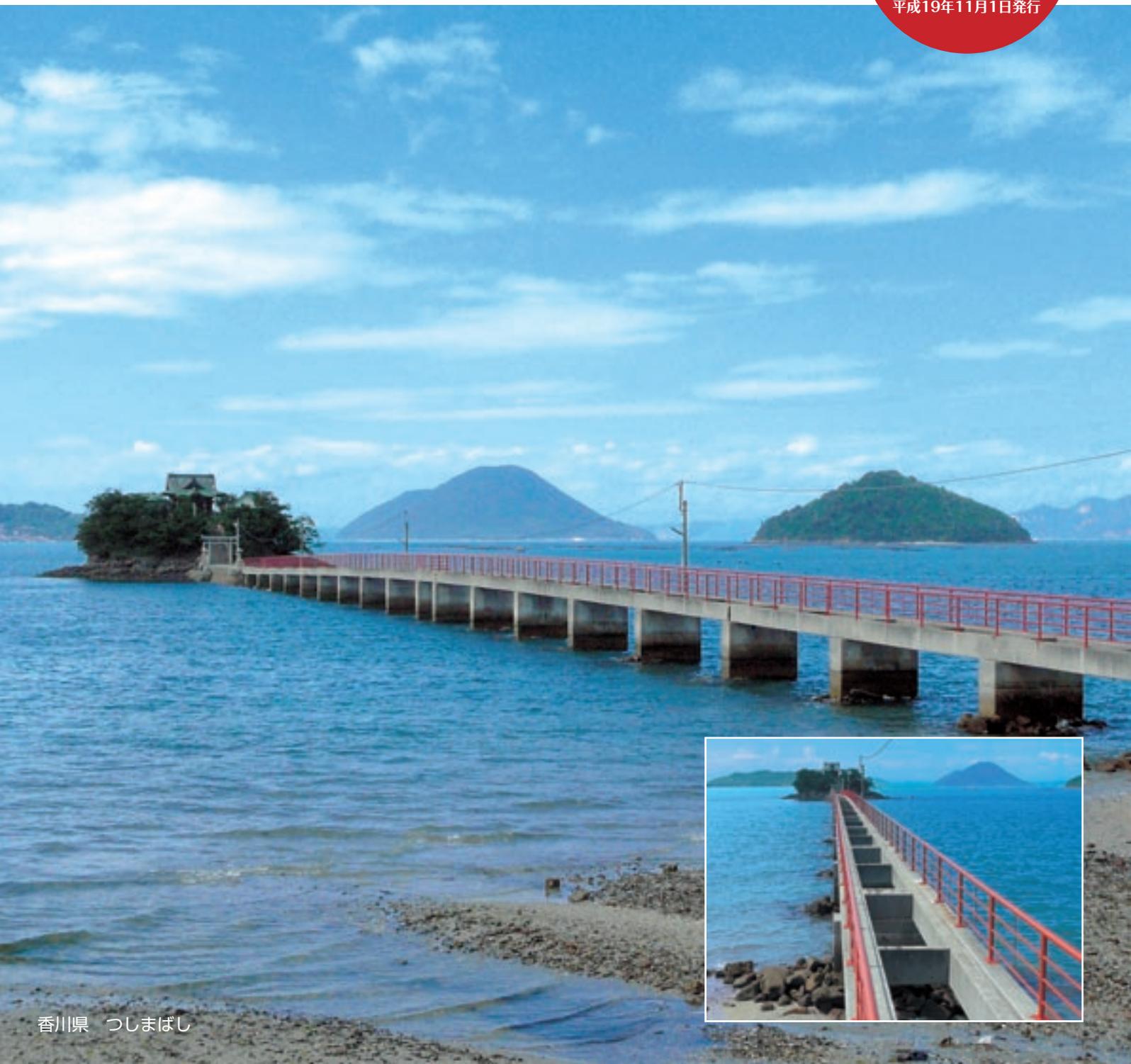
ライオンズクラブ国際協会 336-A地区 地区誌

10.11.12

No.2

2007.第60巻

平成19年11月1日発行



ライオンよ、熱き想い・強い絆でウイサーズ

2007—2008年度

ガバナー公式訪問終える



皆様方にはご健勝にてライオニズムの高揚の為、それぞれの地域においてご活躍のことと存じます。

さて、台風一過の7月15日に高知市において第1回キャビネット会議を開催し、議案の全てをご承認頂き、いよいよ本格的なキャビネット活動が始まりました。

そして公式訪問も、わたくしの所属リジョンである6Rをかわきりに、7月28日から7R、1R、2R、3R、4R、5R、8R、9Rを訪問させて頂き、9月9日をもちまして公式訪問の全てを終えることが出来ました。これも偏に、各リジョンのリジョン・チェアパーソン始め、各ZC、委員長、副幹事、地区委員、リジョンのホストクラブの皆様方のご尽力のお蔭様と厚く感謝申し上げます。

また、どの会場でも、わたくしどもを温かく迎えて頂き誠にありがとうございました。

わたくしの2大重点目標である会員増強とCSFIIキャンペーン目標達成に対しても、皆様方に熱心にお話を聴いて頂き、心強い回答を頂く事が出来ました。

会員増強目標総合計数 636名、CSFIIモデルクラブ34LC (達



INDEX

- 2 ガバナー公式訪問
- 6 第1回キャビネット会議開催さる
- 7 会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員会より
- 8 たばこの害について
- 10 視力ファーストIIキャンペーン コンサート
- 12 YEサマーキャンプ
- 18 ライオンズクエスト
- 20 日韓ショートステイ
- 22 ありがとうハガキ
- 23 うたづLC認証状伝達式
- 24 メルビンジョーンズフェロー・
THE Lion掲載のお知らせ
- 26 アクティビティ紹介
- 28 24時間テレビ・三豊LC結成35周年記念式典・
阿波勝浦LC結成30周年記念式典
- 29 Riding RC
- 30 特別寄稿 光と闇
- 32 336-A地区会員状況

表紙3 物故会員

表紙◆ 1年に1度だけ渡れる
つしまばし

子供の守り神を祭る三豊市三野町の津嶋神社の本殿は、約250m沖の瀬戸内の小島にある。同神社は文禄年間(1592~1596)に造営されたといわれ、約250mの「つしまばし」を渡って参る。夏季大祭は子供の夏休みに合わせて毎年8月4・5日に開催、大祭期間中の二日間だけ、本殿への橋に橋板が敷かれ参拝出来る。現在の「つしまばし」は、昭和63年7月に新設された橋である。

4R高松栗林ライオンズクラス 塩田 博志

成済み8LC)、405ドル達成する40LC、合計74LCの決意を頂き、非常に心強く頼もしく感じました。ぜひ、156LCの残り半数のクラブの方々も最善を尽くして頂きますように重ねてお願いいたします。今からでも、モデルクラブや405ドル誓約クラブ等申請を受付けていただきますのでよろしくお願い致します。

国際協会が総力を挙げて取り組んでいるこの崇高なキャンペーンに関わることが出来る最終年度です。後で「やりたかった」と思っても、今期しかありません。国際協会の会員であるクラブとして、悔いの無い取り組みをして頂き、クラブの更なる活性化に役立てて頂くことを願っています。

また、各クラブ会長の抱負を聴きまして、皆様が意欲的にクラブ運営や地域への奉仕活動に励まれている様子が良くわかり、とても充実した時間が持てました事に深く感謝いたします。

2007
-
2008

ガバナー公式訪問

1 REGION

1 R I R C 井門 照雄

- ◆日時 8月4日(土) 午後1時より
- ◆場所 松山市 文教会館
- ◆ホストクラブ 松山ライオンズクラブ

8月4日 ライオンズクラブ国際協会 3361A地区1R地区ガバナー公式訪問が道後文教会館で行われた。金子1ZCの司会のもと総勢120名の参加で始まり、松下2ZCの役員紹介、続木3ZCのクラブ出席者紹介と続き議事に入った。

三谷地区ガバナーは、ライオンズクラブにかける思いを熱く語った上で、ライオンズ活動の主役はあくまでもクラブであり、これまで以上に活発な活動ができるように、キャビネットがサポートしライオンズクラブの隆盛に最大限の情熱を注ぐ決意を述べられました。

13項の基本方針についても詳しく説明され具体的活動の方向を示唆されました。

参加20クラブの会長からは、CSF IIのモデルクラブへの宣言があったり、



ライオンズ・クエストへの取り組みに対する具体的な質問も出され活発に討議が行われた。
この一年の活動が、ガバナーを中心として1Rのまとまりを感じた、4時間半の会議であった。

2 REGION

2 R I R C 橋本 和昌

- ◆日時 8月5日(日) 午前11時半より
- ◆場所 新居浜市 リーガロイヤルホテル新居浜
- ◆ホストクラブ 新居浜ひうちライオンズクラブ

連日の猛暑の中、8月5日地区ガバナー公式訪問は、2リジョン新居浜ひうちライオンズクラブのホストで、リーガロイヤルホテル新居浜に於いて開催されました。前日は、1リジョンのガバナー公式訪問を終えられ、当日午前10時30分頃、三谷智省地区ガバナー他キャビネット関係者12名の皆様が到着されました。

先ず、橋本和昌リジョン・チェアパーソン案内で、三谷智省地区ガバナーを先頭に、高橋光男幹事・福家正義会計三役に続き、山地章靖副地区ガバナー他キャビネット訪問者が入場、2リジョン18クラブから集まった5名の役員から、盛大な拍手で迎えられ開催となりました。

橋本和昌リジョン・チェアパーソンの挨拶に続き、ホストクラブである新居浜ひうちライオンズ滝田正光会長の歓迎の言葉の後、元地区ガバナー小松武道地区名誉顧問より、三谷地区ガバナーへの激励の言葉がありました。

続いて、三谷地区ガバナーの挨拶があり、2リジョン内18クラブの会長へ記念品の贈呈が行われ、ライオンズローアを声高らかに唱和し、三谷地区ガバナーの門出を祝いました。三谷地区ガバナーは、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長のモットー「We Serve、

プログラム「変化への挑戦」の提言を伝えた後に、ガバナー自身の所信と運営基本方針を会員に熱く語られました。



その後、高橋光男キャビネット幹事の進行にて、各クラブへの要望事項並び質疑応答があり、各クラブの会長の今期の抱負等を発表し、実り多き意義ある会議となりました。

又、今期は、CSF II 献金の最終年度であり、濱田利男CSF II地区コーディネーターより、目標達成に協力要請がありました。委員会よりの要望については、例年では地区委員長が発言されるべき所、今期は2リジョン内地区委員の方々が、要望やお願いを述べられました。元地区ガバナー高岡祐三地区名誉顧問に講評をいただき、適切な切れの良い高橋幹事の進行で、全体的に会はずスムーズに運び、若干予定時間をオーバー致しましたが、無事終了致しました。

休憩時にゾーンごとに三谷地区ガバナーを中心に記念撮影を行い、懇親会場へ席を移し、成岡巖キャビネット副幹事(2R担当)の乾杯の発声で一同なごやかに酒を酌み交わし、懇親をはかりながら閉宴となりました。



3 REGION

3 R-RC 濱田 耕造

- ◆日時 9月8日(土) 午後1時より
- ◆場所 大洲市 たる井
- ◆ホストクラブ 大洲ライオンズクラブ

地区ガバナー公式訪問を終えて

9月8日午後1時大洲料苑たる井に於いて、高知キャビネットより三谷智省地区ガバナーをはじめ13人の役員をお迎えしての「地区ガバナー公式訪問」がはじまり、会場には3R-16クラブから会長はじめ75名クラブ役員が拍手でキャビネット役員さんを迎え入れました。

ライオンズクラブの歌斉唱の後、去る8月10日急病にてご逝去されました、元青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕地区委員の故東孝男のご冥福をお祈りして全員で黙祷をささげました。

三谷地区ガバナーの今年重点目標である「会員増強」と「CSFII目標達成」を目指して各クラブ頑張つて下さいの挨拶の後、山路副地区ガバナーの挨拶が続きました。

それから高橋光男キャビネット幹事、福家正義キャビネット会計、濱田利男CSFII地区コーディネーターから、また各委員からの要望事項があり、またそれに関しての質疑応答が活発におこなわれました。

それに引き続いて16クラブ会長から3分間で今年度の目標と抱負が発表されました。



今回の公式訪問で感じたことですが、国際協会の方針やキャビネットの方針と各クラブとの間にかなりギャップがあるように感じます。これも伝達方法や説明不足、また説得力不足等が原因ではないかと思えます。このギャップを埋めるのがリジョン・チェアパーソンの役目だと痛感しました。

4 REGION

4 R-RC 塩田 博志

- ◆日時 9月9日(日) 午前9時半より
- ◆場所 高松市 マツノイパレス
- ◆ホストクラブ 高松栗林・高松・高松中央・長尾・高松屋島 ライオンズクラブ

4R23クラブでのガバナー公式訪問開催

9月9日は、ガバナー公式訪問である。紺碧の青空と、遠く瀬戸内海が望めるマツノイパレスに於いて、まだまだ続く酷暑の中、朝9時からの受付で開始した。

336A地区内で最大の23クラブを有する4Rでは、昨年までは午前と午後の2回に別けてのガバナー公式訪問であった為、ガバナーを始め、地区役員、ZC、各委員様には、早朝より夜までの長い拘束時間でありました。

そこで今年度は広い会場に移し、9:30~14:30での一回開催を試みました、各クラブ会長の目標と抱負を語って戴く時間が各クラブ3分しかとれず、いささか不満はのこったものの、その他はスムーズに進行して問題はなく、2回に別けるよりも一回開催の方が良かったという声を聞いて一安心です。RCにとつて最も大切なガバナー公式訪問に合わせるため、R内23クラブの例会訪問とリジョン会議2回、各Zでのガバナー諮問委員会を4回開催してきました。

ガバナー公式訪問ではプロトコールを厳格に守り、厳粛に、そして伝えなければならぬものを正確に伝え、又



お願いもいたしました。ガバナーを囲んでの懇親会は、とにかく楽しいものにしたいたいと思いきラオケを導入し、もりあがった130名の会席、又会う日までの合唱でしめくくり有意義な感動深い一日でありました。

5 REGION

5R-RCC 森 忠資

- ◆日時 8月26日(日) 午後1時20分より
- ◆場所 観音寺市 観音寺グランドホテル
- ◆ホストクラブ 観音寺中央ライオンズクラブ

ガバナー公式訪問の感想

8月26日(日)観音寺グランドホテルに於いて、3361A地区5Rガバナー公式訪問が開かれました。高知キャビネット内局役員や地区役員、委員を始め、5Rのクラブの会長、第一副会長、幹事、会計、会員理事の皆さんが全員出席し総勢80名が一堂に集い、ガバナー公式訪問を受けました。

三谷ガバナーの基本方針や理念を伝え質疑応答など実りの多い公式訪問であったと思います。会員増強は純増2名を打ち出していますが結果は期末にならないと解りません。LCIFCSFIIに関しては、5Rは山地副地区ガバナーが前年度CSFII地区コーディネーターで熱心に進められた関係でもあり、5Rで100%に近い成績を上げられる予定です。一番小さいRですが優秀な各クラブに支えられRCとして光栄に思っています。

高知キャビネットのご成功を祈ります。



6 REGION

6R-RCC 田村 建二郎

- ◆日時 7月28日(土) 午後1時半より
- ◆場所 高知市 三翠園
- ◆ホストクラブ 高知ライオンズクラブ

地区ガバナー公式訪問を終えて

RCに就任して最初の重要会議が、ガバナー公式訪問であった。6Rを訪問先が一番を選んで頂き光栄でしたが、キャビネット会議から公式訪問まであまり時間的余裕が無く、会場もホールでなく和室を洋式に設えた部屋でステージが狭く、ガバナー始めキャビネット役員の方々には窮屈で辛い思いをさせてしまいました。又、回答書をZCにゾーン毎に纏めて作ってもらった為、出席者に他のゾーンの資料を渡すことができず申し訳ありませんでした。公式訪問の内容に関しては、ガバナーの運営基本方針等を前もって地区誌に発表し、それを持参させたことはよかったと思う。幹事の諮問時間は回答書が揃って無いこともあって質問形式を取らず、他のクラブに参考になる事例を紹介する形で進め、全クラブ会長に会長方針を発表させたのも緊張感があり、本人の決意表明となり好評でした。又、委員長に代わって地区委員が委員会活動方針を発表したことも、クラブ役員には共感が持てたと思う。主宰者として回答書の纏め方に問題を残した公式訪問でした。





7 REGION

7R-IRC 溝淵 宏

- ◆日時 7月29日(日) 午後1時半より
- ◆場所 高知市 三翠園
- ◆ホストクラブ 高知鷹城ライオンズクラブ

ガバナー公式訪問を終えて

7月28日(日)336-A地区7R地区ガバナー公式訪問が高知市内三翠園にて開催された。事前の準備は5月中旬頃からZCをはじめ地区役員、委員、クラブ事務局員を交えて慎重に打ち合わせを繰り返した、ホテル側とも充分な打ち合わせが出来、当日を迎えた。

当日は7R-1Z、6クラブ。2Z5クラブ。3Z、5クラブ。会長以下5名総勢80名と宮地健三7R地区名誉顧問(常任)、並びに地区役員が厳肅のなか三谷地区ガバナーを始め、高橋幹事、福家会計以下キャビネット役員、委員長をお迎えした。

7R-3ZC浜田英城の司会で、式次第に則り会は進行された。クラブ出席者の紹介が終わり、宮地健三地区名誉顧問(常任)より三谷地区ガバナーへ激励の言葉があり、会の雰囲気より一層盛り上げて頂いた。

三谷地区ガバナーより所信表明が行われた。

スローガンは「ライオンよ、熱き想い、強い絆でウィーサープ」

キーワードは「情熱、感動」

ライオンズクラブは善意の会であり、会に参加する事によってライオンズライフを楽しみ、善意を以て奉仕することが出来るものと思っている。キャビネットは各クラブへの奉仕、そしてお



手伝いの役であり主役は各クラブである。キャビネットとクラブが一つとなつて熱き想いで、ライオンズクラブの隆盛に最大限の情熱を注ぐ事を明言された。

運営基本方針は14項目にわたり、詳細に発表された。特に強調されたのは、仲間を増やそう(会員増強)と視力ファーストキャンペーンⅡ(CSFⅡ)の目標達成を強く表明され、強烈な依頼で締めた。副地区ガバナーの挨拶、三谷地区ガバナーより公式訪問の記念品贈呈、地区役員よりの要望事項並びに質疑応答、各クラブ会長の今年度の目標と抱負の発表があり、予定時刻どおり終了できた。

8 REGION

8R-IRC 原田 一彌

- ◆日時 9月1日(日) 午後1時より
- ◆場所 阿波観光ホテル
- ◆ホストクラブ 徳島吉野川ライオンズクラブ

ライオンズクラブのモットーは、We Serve です。

奉仕こそ我々の生命であり、使命です。ライオンズクラブの奉仕が国の福祉、国際親善、世界平和および人類の社会的、文化的進歩に与える影響はすこぶる大きい。

地域社会で真に要求されていることをその眼で、耳で、足で探し出し、その奉仕の方法を研鑽することが必要です。

それぞれのクラブは、それぞれの地域においてライオンズムを実践し、多くの奉仕活動を完遂されてきた。よって社会的評価がなされ、クラブの存在価値が認識されるようになった。ライオンとしてのメンバーの誇りも、地域社会に永年大いなる貢献してきたことにおいて、その胸にシラベルボタンを輝かせ得るのです。

確かにアクティビティは、単位クラブ自身によって判断され、協議されて進められるべき基本的姿勢に異論はないですが、それぞれライオン・リーダーとしての将来展望、世界的動向、広い視野にたったリーダーシップが要求され、メンバー各位の理解と強力なチームワークが望まれます。



今期マヘンドラ国際会長プログラムで全世界統一して行動すべき、大きな二つの目標のメッセージは会員増強し、新しい21世紀の組織に即応し、イメージを構築する。

そして、ライオンズクラブ国際協会LCIFの支援、CSFⅡ(最終年度)への献金支援です。

国際行政役員、地区ガバナーをリーダーとし、地区役員、各委員長、委員、一丸となり行動支援していますが、やはり、地区メンバー各位の理解と強力なチームワークによる協力こそが望まれます。グローバル化した、世界的動向、広い視野の見識でもって、理解していただき、なお一層のWe Serveを期待して止みません。

9 REGION

9 R I R C 中川 勝雄

- ◆日時 9月2日(日)
- ◆場所 徳島グランドホテル 偕楽園
- ◆ホストクラブ 徳島西ライオンズクラブ

地区ガバナーとクラブ役員との直接対話を目的とする、3361A地区9Rの地区ガバナー公式訪問は、9月2日(日)徳島グランドホテル偕楽園にて三谷地区ガバナー初め、山地副地区ガバナー、高橋キャビネット幹事、福家キャビネット会計、濱田CSFII地区コーディネーター一同十一名を迎えて開催された。8Rから荒瀬名誉顧問初め、地元9R松本地区常任名誉顧問、役員、委員、総勢参加者124名のビックな会議となった。

三谷地区ガバナーの挨拶はマヘンドラ・アマラスリカ国際会長の『変化への挑戦』の意味やプログラム・キーワードを説明されました。又、シカゴ国際大会に参加された様子が発表され、九〇年に及ぶLICの歴史と伝説の重みを感じ身の引締まる思いをされたことや、最終日には、エレクトのリポンを投げられ、ガバナーに任せられたときの感慨を話されました。チャーター(認証状)のことも詳しく説明され、ガバナースローガン『ライオンよ、熱き想い、強い絆でウイサーブ』の狙いとするところが述べられています。

出席者全員が熱き想い強い絆の精神のもと、クラブ組織の使命をよく認識

し、キャビネットが打出された二大目標、会員実増二名、CSFIIの最終年度目標達成を目指し、実行を胸に誓い、邁進する意欲が向上されたことと思えます。

交流懇談会では、阿波踊りが飛び出すほどの華やかな雰囲気の中に、一時間半という短い時間ではありましたがキャビネットと9R役員との親睦を深めることが出来、大変嬉しく思っております。

9Rの出席者は、この素晴らしい公式訪問に感動し、今期こそ躍進と成果をあげるべく、一層の努力をさせていただきます。



第1回キャビネット会議開催される

2007年7月15日(土)
三翠園(高知)

3361A地区三谷智省地区ガバナーの新体制による、第1回キャビネット会議が7月10日13時30分から三翠園で開催された。前日に予定されていた名誉顧問会議は台風のため中止となり、開催が危ぶまれましたがメンバーの熱き想いが通じ好天にめぐまれました。

地区内約70名の役員が一同に会しての会議では、三谷地区ガバナーより基本方針の確認を皮切りに、13項目の審議事項、16項目の報告事項等が慎重にかつ熱心に審議討論され全て原案どおり可決されました。





ガバナー公式訪問を終えて

会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員会より

委員長 溝渕 康夫

会員増強の現状

純増プラス2名は、三谷地区ガバナーの最重要課題であります。

あらゆる機会を通じて、会員の皆様にお願いをし、熱き想いでスタートしましたが三ヶ月を経た九月末現在の状況をご報告いたします。

期首会員数6318名(155クラブ)でしたが九月三十日現在、入会数224名、退会数150名(内、物故者11名)で、74名の増加となり、会員数は6392名(156クラブ)です。

具体的には、増加したりジヨンは7つで、減少したりジヨンは2つとなっています。

一度に、7、8名の新会員入会式を行ったクラブも3クラブありますが、新しいうたづライオンズクラブの45名が大きな原動力となっています。

数字的には、ある程度順調に会員増強が出来ていると思われ、しかし内容は、伸び悩んでいると言わざるを得ません。新クラブの増員をマイナスすると29名でしかありません。特に、この3ヶ月の

間に物故者を除いて139名の退会者を出しております。

会員増強は如何にドロップを減らすかにかかっている。この言葉は常日頃、煩い程聞かされていることと思います。しかし現実には余り効果を挙げていないクラブが非常に多いように思われます。

ではどの様な対策を立てるといいのか、と言うと「これは絶対に効くという特効薬」はありません。

会員増強、維持は、一朝一夕に出来るものではありません。各クラブの日常活動の中で地道な努力を続けていくことが大切です。会員が心を一つにして汗を流せる奉仕活動、全員参画の温かみのある楽しい例会、厳粛で印象深い入会式、そんな一つ一つの積み重ねが大きな効果をもたらすと思えます。

助走期間も終わりこれからが本当に大切な時期を迎えます。クラブ役員の皆様はもちろん会員全ての皆様が一致協力してがんばっていただきたいと思えます。宜しくお願ひ申し上げます。

EXTについて

「EXTは最大の奉仕活動である。」と言われております。会員増強の最も有効な手段の一つであることはもちろん、ライオンズクラブの活動、さらにはその存在自体に大きな影響を与えます。

現在、三谷地区ガバナー所属の6リジヨンにおいて新クラブの結成が準備されております。

現在進行中であり、まもなくお知らせできることと思えます。

新クラブ結成は、現状では非常に難しい状況にあります。1年の期間限定の中で行動するということは、いろいろ制約が出てまいります。準備段階を早く取り、少なくとも3年のスパンを考えたら、幅広い発想が出て来るのではないかと思います。

各リジヨンにおいて、それぞれ特性があり、地域の特徴を生かしたEXTが大切であります。しかし、336-A地区全体の情報交換と、協調体制が不可欠であります。

どうぞ、皆様の絶大なる御支援助とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

「たばこ」について、クラブの現状把握の為のアンケート結果報告



336-A地区
環境保全・保健福祉委員長
細木 鷹子



この度はアンケートにご協力、誠に有難うございました。7月第一例会と8月にアンケート調査を実施したクラブが若干ございました。156クラブ中154クラブの皆様にご協力いただき、実施出来ました。尚、クラブ回収率98.7%、会員4072名の回収率64.7%でした。以下、ご報告申し上げます。

クラブ数	会員数	回答会員数	%
1R 20	838名	636名	75.9%
2R 18	878名	596名	67.9%
3R 16	545名	386名	70.8%
4R 23	932名〈直島LC含まず〉	575名	61.7%
5R 12	540名	386名	71.5%
6R 17	675名	398名	59.0%
7R 16	648名	343名	52.9%
8R 17	604名〈小松島LC含まず〉	392名	64.9%
9R 17	637名	360名	56.5%
合計 156	6,297名	4,072名	64.7%

結果報告

- ①たばこを吸っているのは、全回答者の**35.0%**
- ②吸っていないのは、**65.0%**
- ③たばこを吸っている男子の年代別（1～8R）…20代1名・30代**8.1%**・40代**17.4%**・50代**38.4%**・60代**24.4%**・70代以上**11.6%**【1～8R合計1,117名、9R313名】
- ④たばこを吸っている女子の年代別（1～8R）…30代**4.3%**・40代**29.8%**・50代**40.4%**・60代**17.0%**・70代以上**8.5%**【1～8R合計47名、9R47名】
- ⑤止めたいと思っている人 **19.8%**
- ⑥挑戦したが止められなかった人 **18.5%**
- ⑦今の所止める気は無い人 **45.7%**
- ⑧最初から吸っていない人 **21.3%** ⑨吸っていたが止めた人 **41.5%**
- ⑩禁煙に医療保険が使えることを知っている人 **32.8%** ⑪知らない人 **67.2%**
- ⑫副流煙の害について知っている **71.2%** ⑬知らない人 **28.8%**

以上のような結果となっています。



考
察

1) 現在たばこを吸っている方の4割近い方が止めたい、又は、止める方向に進みたいと考 えられておられます。

2) 現在吸われてない方の4割強の方は、過去にたばこを吸っていた方です。

☆クラブの会員さんで禁煙に成功された方の体験談などを、例会で話して戴いては如何でしょうか？

☆禁煙には最近、医療保険が使えます。インターネットで禁煙外来を引いてみて下さい。近くにある病院名など、色々参考になるのではないのでしょうか。是非専門医のいる病院に掛かりましょう。禁煙外来を標榜しています。

☆今のところ、たばこを吸うのを止める気の無い方も吸っている人の半数近くおられます。今回キャビネットより会員全員にお配り致しました「たばこって なーに？」の小冊子を是非・是非お読み下さい。副流煙の害を充分にご理解下さいますようお願い致します。ご自身の健康とご家族、お友達健康を守りましょう。害を良く知って節度のある吸い方をお願い致します。ポイ捨てはゼッタイにダメです。

☆複合の環境保全・保健福祉委員長が言われています。会員全員、年に1～2回は血液検査を受けましょう…と。

体調に異変を感じたら、出来るだけ早期の治療を心掛けましょう。

☆さわやかな空気が何時までも吸えますように！喫煙中の皆様の肺が一日も早くキレイに成ります様に…と祈りながら報告と致します。

「たばこの害」を簡単に記します。詳しくは、小冊子をお読み下さい。



たばこの害

- ◎たばこの煙には有害物質が200種も含まれています。
- ◎1本のたばこで体中のビタミンCが25mg、1日必要量の約半分が無くなります…美容の大敵、シワの原因ですよ!!
- ◎主流煙(たばこを吸っている人)を1とすると、副流煙(横にいる人)には、何と、タール3.4倍、ニコチン2.8倍、一酸化炭素(CO) 4.7倍も含まれています。
- ◎COの赤血球結合能は酸素の約300倍です。だから、体中に酸素が充分行きわたらない。その上、ニコチンは血管を締め付けます。
胃・十二指腸潰瘍に成り易い。心臓病に罹りやすい。高血圧や「ボケ」が早く来る。
- ◎男性40歳で、たばこを吸うと余命が3.5年縮む(2007,7,24 高知新聞夕刊)
- ◎たばこは肺気腫の大きな危険因子です。(COPDと言います)
- ◎たばこを一本吸うと国に10円の赤字を強いている。(たばこ税の2倍の医療経済損失)
- ◎ニコチンは歯肉への血流を低下させ歯周病に成り易い
- ◎5年以上禁煙すると、あらゆる病気の死亡率が吸わない人と同じ率になる。
- ★ニコチンは猛毒で、神経・小脳・延髄・脊髄などを刺激・麻痺させる作用がある。
- ★ダイオキシシンも猛毒で発がん性や催奇形性が強い
- ★締め切った6畳間で1本たばこを吸うと、そのこの全員に害を及ぼします。

**たばこを吸っている貴方・貴女だけの問題ではありません。
周りの人に迷惑を掛けないように致しましょう。**

視力ファーストIIキャンペーン コンサート



『愛、愛…』愛あふれる チャリティコンサート

主催：6R・7R 高知県民文化ホール（オレンジ） 9月22日（土）

高知県民文化ホール【客席数一、五〇〇席】にて二〇〇七年九月二十二日（土）十八時三十分開演、二一時閉演で6R・7R主催の『目の不自由な方に、愛の光を』チャリティコンサートが開催されました。

このコンサートは二〇〇八年（二〇二三年の一五年間）にわたり、ライオンズの視力保護事業に必要な資金獲得運動（CSFII）に高知県の全クラブが田村建次郎6RCと溝渕宏7RCの発案で二リジョン合同の開催となりました。

CSFIIキャンペーンはご存知のとおり今年が最後の締めめの年であり、ライオンズクラブ国際協会3361A地区としても三谷智省地区ガバナーを筆頭に濱田利男CSFII地区コーディネーターが目標に向けて年頭より活発に活動しております。コンサートの出演者も、冷泉公裕（れいぜき きみひろ、俳優・歌手）が三谷地区ガバナーとの友情出演、中村一之バンド（今治中央LC）はゲストとして出演、主催者側からはTWO REX & ダニエル斉藤（高知鏡川LC）、

スイートライオンズ（高知北LC）と、それぞれが団塊世代の青春の頃を思い出させる素晴らしい歌と演奏で観客を魅了しました。司会も、ふあーまー土居（高知北LC）とということ、一見プロのコンサートのようでもありました。入場者（観客）も約五〇〇人位で一階席が満遍なく埋まりましたが、チケット販売数（約一三三〇枚）に対しての入場者数は少し少ないようではあります。盛大なうちに終えることが出来たのは各クラブの協力あっての事であり本当に素晴らしいコンサートだと感じました。

又、チャリティコンサート開催するに当り、企画から会場設定・入場券販売まですべてをクラブ員で行い、費用を最低限に抑えることでCSFIIへの拠出金の捻出に貢献したと言えるでしょう。

地区誌編集委員会 T・I





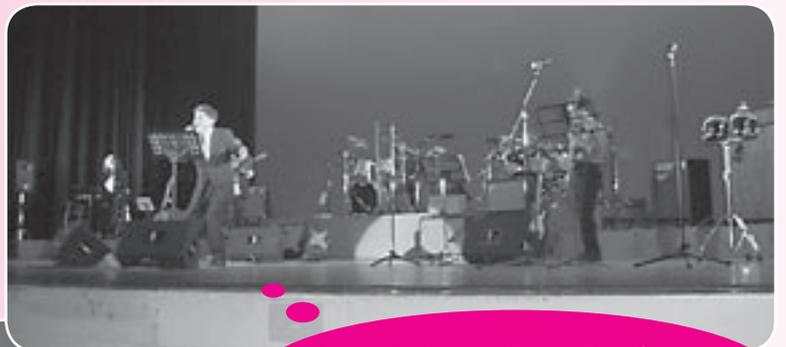
ふあーまー土居さんの司会でエレキの音が会場に!!
一世風靡したベンチャーズ曲をスイートライオンズの
演奏で。



TWO REX の高音と低音の楽しいハーモ
ニーで幕が上がった。



舞台で鍛えたので、会場を
独特の雰囲気包み込んだ
冷泉ワールドタイム



中村一之バンドのアップテンポな面白
トークと60~70年代のポップス曲でつ
い口ずさみ…。気分は一気に20代。





初日キャンプ参加者全員で宿泊所[考える村]にて

7/23(月)~7/26(土)

Youth
Exchange
Camp

336-A地区・B地区合同 YEサマーキャンプ

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

YE・国際協調委員長 岡林 啓仁

ともかくにも、病人、怪我人をひとりも出さずに無事、3泊4日のサマーキャンプ日程を終了出来ましたことを、ライオンズ役員、関係団体各位に感謝を申し上げます。

サマーキャンプは準備が大変でした。まず来日生の食事です。7カ国16名のお世話をしなければなりません。ひとり豚肉が駄目という来日生がいたことと、宿泊施設の食事が肉類は鳥のみだったことで、和食に偏ったことが反省材料となりました。

宿泊所は大変好意的で、満足のいく待遇をしていたいただきましたが、残念ながら夏の山間部ということで、虫が多く、特に女の子には不評だったようです。

もうひとつの反省は、日程の中で移動時間が長かったことです。しかし、あれこれと考えてみても、一箇所に集中して活動はできません。仕方がない部分もあります。

活動内容については、結構良かったと思自負しています。特に、内原野の陶芸と、ホエールウォッチングは価値があったと思います。

あれほど間近で、しかも二頭のニタリクジラを30分以上も見る事ができたのは、一生懸命やったことへのプレゼントなのかなと思います。

解らない事だらけで、何もかも手探りで、頼りない委員長でしたが、本当にたくさんの方のライオンズの仲間の皆さんに助

けていただきました。B地区信原委員長の明るい人柄、A地区日高前委員長のパーベキューの手際の良さ、A・B地区各YE委員、副幹事の方々、本当にお世話になりました。私は、YEサマーキャンプとは、来日生のお世話をすることと、思っていました。ライオンズの仲間の皆さんの素晴らしさに感激しました。

こんなに素晴らしい体験が出来て、大変嬉しく思っています。最後にもう一言、ありがとうございました。

ライオンズクラブ国際協会336-B地区
YE・国際協調委員長 信原 好貴

2007年YEサマーキャンプが、336A地区の担当で高知県「考える村」にて開催されました。梅雨明け間近の暑い4日間でした。

毎日のスケジュールが綿密に練られていて感心をさせられました。YE生達と一緒にひとつの部屋に雑魚寝の生活を送りました。

プライベートを重んじる国の人たちに受け入れられるだろうか当初心配していました。特に風呂に入る、トイレのこと、自分の部屋がない生活を我慢できるのかと、思っていました。そんな心配をよそにYE生たちは、真の交流を深めてくれたようです。夜の、YE委員長のライブや、B地区副幹事やスロバキヤ生の演奏など交流を深めるのに大変役立つと思います。

中でも「みんなで鯨を間近に見ることは、一同初めることだったと思います。驚きや感動を共有でき心がひとつになったように感じました。正に、キャンプの目的を体感できた瞬間だったと思います。このようにすばらしい機会を作っていただき、お世話いただいた多くの皆さんに感謝したいと思います。





日程

●第1日

バスにて多度津駅より芸西考える村に出発。岡澤エディ現YE委員の素敵なお通訳により、バス内は歌あり、スピーチありで大騒ぎ。この時点で、このサマーキャンプはいいものになると予感。夕方、考える村にて、三谷A地区ガバナールをお迎えしての開村式。夕食後、永井康博7R1ZCと私による、歓迎ミニライブ。B地区長谷川副幹事が、一期一会(4本弦ギター)を持参してくれた。歌は国境を簡単に越える!と実感。楽しいひととき。

●第2日

内原野陶芸館にて、グラスサンドブラスト加工に挑戦。昼食後、土コネから陶器を製作。手作りのお土産は帰国後いい思い出に。

夕方、折り紙教室を開催。言葉が通じないと、なかなか教えるのが難しい。女の子はかなり熱心に挑戦してきた。一人でも、関心を持ってくれれば、こんな楽しいことはない。

夕食はバーベキュー。A地区日高前YE委員長が全てを取り仕切って、見事な焼き加減で、全員が感激。ありがとございました。また、考える村の方が、流しそうめんを準備。近隣の竹を切って手作りの道具で、あつという間に完食。

食後に、花火大会。場所の関係で、打上げは出来なかったが、大人も混じってみんな子供に帰ったみたいで、花火を満喫した。

●第3日

本日は海づくし。朝から海水健康プール芸西へ。館長のご好意により、開館時間前から、貸切で使用させていただく。ありがたいございました。

昼食は国民宿舎土佐で、太平洋を望みながらいただく。素晴らしい天気でおいしい昼

食だった。

食後は、いよいよこのサマーキャンプの目玉、ホエールウォッチング。イルカを含むと80%の確率で見ることができるとの事だが、身近で聞くと、クジラを見た人がいない!天気も良く、最高のロケーションで、クジラさんお願いします。と祈りながら乗船。

沖に走ること30分、イルカもいない。背中冷や汗が出始めた頃、私の前に座っていた(寝ていた)松岡副幹事が、クジラのような大柄な体を、ガバツと起こし、右前方を指差す。小さく見えたので、イルカかなと思ったら、やった!クジラだ。しかも二頭。それから約30分間、海面に浮いたり沈んだりのクジラショー。海面からグワツと出てきたクジラの決定的写真は、A地区高橋前委員の大傑作。

夕方から、考える村で同行の岡山東国際レオクラブの二人によるゲーム。道具を使わず、全員で繋いだ手を離さずにくぐってくぐってもつれた人の知恵の輪を元に戻すゲームなど、感心させられた。

●第4日

いよいよ最終日。お世話になった考える村を出発。バスにて高知城へ。ゆっくり散策してもらおうつもりが、あまりの暑さに早々に三翠園へ。

サマーキャンプの感想文を書いてもらった後、ホテル会場にて、開村式。

B地区小田ガバナール、A地区三谷ガバナール、A地区高橋キャビネット幹事などのご出席をいただき、三翠園心づくしのバイキング昼食を取り、なごやかに全員からスピーチをもらい終了。別れが名残惜しく、あちこちで記念撮影の輪が出来、一向に帰ろうとしない来日生のみんなが、本当に可愛かったです。

岡林 啓仁



芸西村海水プールにて



初日夜、TWO REXのYE生歓迎miniライブ

最初は今度のキャンプに興味がありませんでした。普通にテントを張ってキャンプすることだと思っていた。しかし初日の夜から好きになった。違う国からやってきた皆さんとは言葉が通じないが、単語を紙に書いたり、通訳してもらったり、日本での生活などについて話し合ったことはとても面白かったのだ。虫が多くて怖くて困ったが。今日いよいよみなさんと別れる。外国の皆さんはMSNにて連絡すると言っているが、言葉が通じないのでなかなか話しができないだろう。夕べは本当に悲しかった。サインボードにサインした時の空気は重かった。その気持ちは嫌いだ。これからのキャンプはもっと日数を増やしてほしい。そうすればお互いの理解を深め、より多くの友達を作ることもできるだろう。



ヤン・リン・チェン(18)
【台湾】
336-B

I'm really feel happy in this YE summer camp!
今回のキャンプは、本当に楽しかったです。外国の友達をたくさん作りました。いろいろお世話になりました。皆さんご苦労様でした。今回は本当にどうもありがとうございました。



シー・シャオ・チェン(20)
【台湾】
336-A 高知黒潮 LC

楽しかったが日程はすこし空いていたような気がする。“考える村”はあまり好きではない。道も狭くて運転が危なかった。あまりにも遠くて不便であり、泊まる場所の壁も薄くてうるさかった。日程をもっと充実させれば完璧だろう。一番良かったのは外国の人々と話し合っ、知り合ったことだ。国際交流に絶好の機会だったと思う。



チャン・ジン・クン(19)
【台湾】
336-A 土佐香南 LC

最終日の
キャンプファイヤー
での花火大会



宿泊した“考える村”はあまり遠すぎではないか。小型バスで山を登ると大変だった。車酔いをひどくしたせいや夜もよく眠れなかった。(考える村は)遠すぎるので行き帰りに時間がなくなった気がする。だからスケジュールも充実出来なかったところもあり、村の中で話したただけだった。もっと充実する日程を組んでいろいろなところに案内してもらいたい。キャンプで外国の人々と知り合っ、楽しかった。21日間の日本語環境の中、中国語も話せる楽しさを味わった。英語も上達したようだ。意義があったと思う。たくさんの方々が集まるこのようなキャンプにまた参加したい。面白かった。



チャン・ハン・イン(19)
【台湾】
336-A 高知よさこい LC

この数日間はとても楽しかった。大人の皆さんも精一杯で私たちの世話をしてくれた。いろいろなところからやってきた人々と友達になった。違う文化とも交流した。とても面白かった。今度のキャンプに参加でき、嬉しかった。ありがとう! THANKS!



シン・ズー・チェン(19)
【台湾】
336-B 玉野 LC

今回の活動を通じて、違う国の友達と知り合った。アメリカ、日本、台湾... 小さい地球村のようだった。四日間はいろいろな日程を組んでくれたが、あまり充実していたとは思わない。陶芸は面白かった、鯨の見学もすごかった。バーベキューは種類が多くてよかった。夜は外国の人々と交流ができて面白くて楽しかった。いろいろとありがとう。違う文化を見学でき、交流できた。皆さんお疲れ様! Thank you very much!



チャン・ユウ・シャン(22)
【台湾】
336-B 井原 LC



今度の夏期キャンプはとても楽しかった。すべての人々はとても親切にしてくださった。陶芸館が面白かった。みんな出来ないのだが、それもまた面白かった。ホエールウォッチングでは鯨を見ることが出来て嬉しかった。この三泊四日は楽しかった。すいか割りやお祭りなど、もっと日本の生活を体験できればよかったと思った。一回のイベントでたくさんの国の人に会ったことは、とても不思議な感じがしたし、面白い出来事もたくさんあった。泉さん、俊介さん、お疲れ様！私たちの面倒を見てくれた皆さんも、親切だった。ありがとう！
THANK EVERYONE!



ハン・スー・チン(22)
【台湾】
336-B和気LC



2日目 内原野にて

I feel really happy in this summer.
今回のキャンプは本当に楽しかったです。
外国の友達をたくさん作りました。いろいろお世話になりました。皆さんありがとうございます。



チャン・ホイ・イ(20)
【台湾】
336-A高知中央LC

とてもよかったよ。しかし部屋の虫が大変多かった。友達をいっぱい作った。不便なことが多かった。それはあまりにも山の奥だったから。でもみんな心を込めて私たちを案内してくれた。
最初は誰も知っている人がいなかったが最後には一緒にゲームで遊んだりして、楽しくて別れるのがつらかった。本当に懐かしい。ありがとう！
THANK YOU.



ヤン・スー・ハン(22)
【台湾】
336-B倉敷LC

キャンプは本当に楽しかった。いろいろな国から来た青少年達と出会いはなしをする事が出来た事は素晴らしい体験でした。夜遅くまで起きて語り合い新しい友人達と本当に楽しい時間を過ごしました。ホエールウォッチングも本当に楽しむ事が出来ました。しかしキャンプ地は、よい場所であるとは少々言い難いものでした。なぜならそこへ行くまでの道のりが非常に遠く、その上坂を上ったり下りたりしながら到達し(なければならず)建物の中はとても暑かったからです。私は自分と同じくらいの年齢の人達で English speaker ではない人達(親しくなった友人を指して)と離れるのがつらかったのでこのキャンプがもっと長ければよかったと思いました。(頂いた食事)ステーキは本当においしかった。食事は良かったけれど、もう少し国際色豊かなく(メニューの中から)いろいろ選ぶことが出来ればと思いました。



スティーブン
モンタンティス(17)
【アメリカ】
336-A南宇和LC



考える村 考堂にて そうめん流しの昼食

キャンプは素晴らしかったです。私は人々とその雰囲気が好きでした。キャンプ地はあまり満足のいくものではなかったけれどキャンプ自体は悪くなかった。(希望を言えば通常食べているものとは違ってお米料理、スープ、魚(料理)など例えば(このキャンプに参加している)学生の出身国のそれぞれの国の(特徴がある)料理などを食べたかったと思いました。キャンプは通常行われるホームステイよりもよりよい素敵な時間であったと思います。今後も(このプログラムが)ずっと続くことを願っています。



ジアナ フガジ(18)
【アメリカ】
336-B落合LC



**2007夏期
YEサマーキャンプ参加感想**

336A地区 キャビネット副幹事

北村 聡幸

YE担当副幹事として岡林YE委員長の補佐を務めるべくサマーキャンプに参加しました。

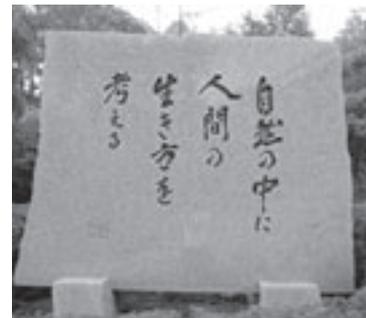
5月にYE委員会、6月にオリエンテーションに出席して幾分知識を得たつもりで、7月23日の開村式から25日にかけて、1泊延べ3日間参加しました。

実際に参加をして、私は言葉が通じずほとんど会話は出来ませんでした、YE生達はゆったりと落ち着いていて、岡林委員長、永井7R—1ZCらによるミニライブや、バーベキュー、花火遊び、折り紙などをとても興味を持ちましたよ、素直に楽しんでる姿を見ました。宿舎はクーラーもなくまわりは山中で何もないところでしたが、特に問題もなかったと思いました。私は都合で参加できませんでしたが、ホエールウオッチングも鯨には長時間遭遇でき、猛烈に感動したと聞きました。

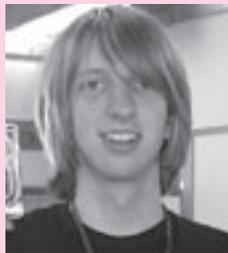
前YE委員会の日高委員長以下、他のライオンズメンバーの熱心なサポートも、それぞれが得意の持ち味を發揮され、楽しみながら参加をしているようすを見て勉強になりました。

数カ国のYE生と一緒にいろいろな日本文化を身近に体験したことは、今期三谷地区ガバナーの掲げる「感

動と情熱」あるアクティビティをおこなうため、国際交流の機会を与え、理解と親善を促進するとういう目的を十分果たせたと感じました。



私はキャンプのほとんどのアクティビティを楽しみました。(今回)選ばれたアクティビティはとても楽しかった。(こういう事をするのは)以前はくじらをかわいそうだと思っていたのですが、ホエールウオッチングは良かったです。私の最大の不満はキャンプの場所のコンディションです。建物自体はいいのですがエアコンは無く山の頂上にありました。(不満に思った事の)もう1つは食事です。日本(で出された)食事は時々や単調に思えたのでもう少し国際色豊かな食事を出して頂けたらとても良かったと思います。



ピーター アルバ(17)
【アメリカ】
336-B 奈義・勝北 LC

印象に残ったことは、ホエールウオッチングです。今後のために改善すべき(と思う)ポイントもう少しお肉料理(特に鶏肉)が食べたかったと思いました。エアコンが欲しかった。(キャンプ場までの道のりが遠すぎたので)長いドライブを必要としないもう少し近い場所で行って欲しかったと思いました。(私にとって)素晴らしい時間を過ごしました。有意義なキャンプでした。



**ラウリー ファンエツト
エレファ(17)**
【オランダ】
336-A 丸亀 LC

私は食事の好みが変わらなかった。しかしこれはキャンプについてではなく日本料理との違いによるものだと思います。でも皆さんは私達がよりそれらを食べやすいように工夫してくれました。キャンプ場の建物の中には虫や蜘蛛がいました。それらを防ぐ方法を、例えば殺虫剤を使うなどの対策を(事前にと)っておくべきだと思いました。これが私にとっては一番残念に思ったことでした。キャンプで友人と過ごした時間は本当に楽しく終盤になると寂しく感じました。私は(みんなと)非常に親しい関係になれるこのキャンプがこれからもずっと続くことを願っております。 Thank you everything!



**シューレイ
ギュルテック(20)**
【トルコ】
336-B 美作 LC



最終日、高知城にて



各自、自分の陶器作りに没頭中



私はプログラムに基づいた全ての滞在を楽しみました。しかし、キャンプ場所はアウトドアアクティビティのための部屋がなかったためあまり良いものではありませんでした。

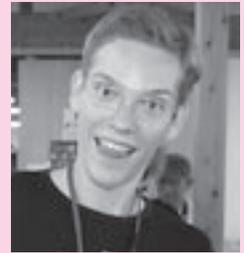
プログラムの後、夕方（以降）は何もやることがなかった。違う国から来た人たちと知り合い彼らの文化を学べたことは素晴らしいことでした。

わたしは素晴らしい時間を過ごし新しい友人を得ました。



カミラ・スカルヴァ・クライヴァネス(17)
【ノルウェー】
336-A 内子LC

私はそのプログラムはとてもよかったと思うし大変楽しむことが出来ました。特にホエールウォッチングがよかったと思います。そしてまた他のYEの学生に会い一緒に時間を過ごせた事はとても素晴らしい事でした。（しかし）その一方で、キャンプ場の場所はあまり良いものではなかった。そこへ行くのは容易ではなく丘を登ったり下りたりしながら非常に長い時間をかけてたどり着きました。食事はとても良かったと思います。



トーマス ケシアラ(19)
【スロバキア】
336-B 奈義・勝北LC



今回は初めての参加で、分からない事も多々ありましたが、思った以上に楽しむ事ができました。異文化の人達と3泊4日という時間を共に過ごすという貴重な体験ができた事がとても嬉しいです。どこの国の人もポジティブに物事に取り組み、それによって人の輪が深くなっていった気がします。こんなふうに出会いが広がっていくのは素晴らしい事だと思います。次回もぜひ参加をさせて頂きたいです。本当にありがとうございました。



山縣 俊介(23)
【日本】
レオクラブ岡山東国際

一言で言えばとても楽しかったです。今回は日本の学生がテスト期間で来ることが出来る人間が少なかったため、不安だったのですが、皆優しく、あったかくて、ユーモラスですぐに溶けこむことができました。

日本の文化を見てもらうことを通して（折り紙や空手）自分自身ももっと日本の文化について説明したいと思いましたし、シュレなどが自分の文化を夜遅くまで教えてくれたのは嬉しかったです。

今回は色紙（しきし）を用意して皆でお互いにメッセージを書いたのですが、本当に皆があたたかい言葉をくれ、とても嬉しかったです。このキャンプで知り合った友人たちと言葉や文化の壁を越えて、ずっと仲良くありたいと思います。

あと最後に、ご同行下さったライオンズクラブの皆様…本当に楽しい旅をありがとうございました。



渡辺 泉(21)
【日本】
レオクラブ岡山東国際



高知中学・高等学校 ライオンズクエスト 校内ワークショップ報告

2007年7月27日(金)・28日(土)の2日間、高知中学・高等学校において、ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムの校内ワークショップを、336-A地区キャビネット(LCIFの助成金)の支援をいただき、開催しました。

開催初日は、高知キャビネットから高橋光男キャビネット幹事、北川渉青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長、岸岩男キャビネット副幹事、松田新一郎(6R)、近江徳長(7R)青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員、松尾大道地区誌編集委員長、宇都宮博史地区誌編集委員の皆様のご参加をいただき、代表して高橋キャビネット幹事よりごあいさつをいただきました。

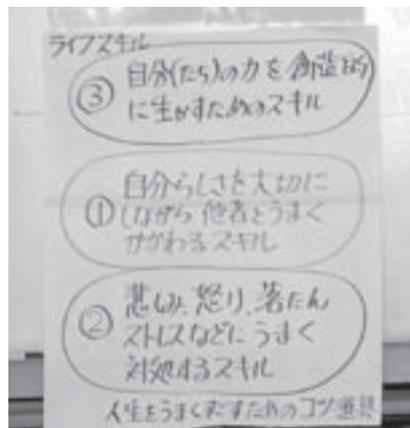
講師は和歌山県の田辺市立田辺第三小学校長であり、青少年育成支援フォーラム・ライフスキルプログラム認定講師である北山敏和先生においでいただきました。

高知中学・高等学校の松吉教頭先生をはじめとする32名の先生方の参加で行われたワークショップでは、2日間「ライフスキル」の系統的な学習が行われました。参加した先生からは「参加して良かった。生徒の側に立つことが必要だと気付いた」「生・き・る・力」の大切さを強く感じ、このプログラムの必要性を実感した」などの感想が出ました。

このライオンズクエストプログラムの「生・き・る・力」を思春期のよ

り多くの子どもたちが学び、身につけてもらえるよう、今後もクラブ員全員で力を合わせて学校支援を続けていきたいと思っています。

高知とさみずきLC
ライオンズクエスト委員会委員長
北 泰子





思春期のライフスキル教育を受講して

高知中学校教諭 大谷 尚子

気持ちの良い疲れ。学生時代に部活の大会後などでこのような感想を持ったことがある。そして、今回のワークショップ終了後も同じような感想を持つ自分がいたことに気付いた。会場に入ると、そこには丸く列をなした椅子が用意されており、最初から講師の北山先生は私達に気さくな質問を投げかけ、とても暖かい雰囲気を作ってくれた。

問いかけ、見本、体験の順にすべての活動が行われ、グループ分けの際には見事なまでのたくさんの技を見せていただいた。例えば、小さな紙の中に4種類の童謡が書かれていて、それをハミングしながら歌い、同じグループの人を探す。明日からでもすぐに生徒に試してみたい小技がたくさん織り交ぜられていた。また、北山先生は生徒達に行うのと同様に私達にエンカウターを利用して、教員同士のつながりをもたせてくれていたように思う。ペアになり、手をつないで行ったフルーツバスケットでは、質問に対して瞬時に顔を見て確かめ合う。どの教員もいつも見たことのないような笑顔、笑顔、笑顔。普段同じ職場に勤務するとはいえ、中学と高校に分かれていたり、学年が違っていたり、年代が違っていたりしてなかなか話す機会のない教員と、同じ模擬授業に取り組んだり、生徒役・先生役に分かれて質問をしたりと、私

達の仲はぐんぐん深まり、そして皆が一生懸命同じ課題に取り組むことができた。

今回の研修で私自身が気付かされたことは本当に莫大にあるが、その中でも特に心に突きささったのは「コーチング」である。「相談をしに来た生徒は、もうすでに自分自身の中に答えを持っている」という北山先生の言葉。日頃生徒に関わる中で、私達は相談に乗るケースが多々ある。しかし、その時に聞き上手になって、うまく生徒の答えを導き出してやる事ができていたであろうか。こうしたらいい、ああした方がいいというのはその生徒自身が一番分かっていることである。それをこちらがすぐ言うってしまうのではなく、その答えに行き着くまでに、遠回りに思えるかもしれない「聞く」という作業を、ぜひぶんこちら側の事情でカットしていただくように思う。時間をかけて、丁寧に聞く。日常的に抜かっていたように思え、生徒に対して申し訳なく感じた。そして私自身が強く感じたことは「聞き方」も大切だということだ。すぐにその生徒が持っている答えを促すような質問ではなく、その背景にあるものをうまく引き出して聞く。そこに大切なものが隠れているのではないか。授業ではすぐに答えられるような質問をするが、生徒が困って相談に来た場合は、その持っている答えに行き着くま

でに全て同じ過程があるとは言えない。それ故丁寧に聞くことはとても大事な。大人にも同様のことが言え、相手の気持ちにそったコメントをしてくれながら気持ちを探してけると、とても嬉しくなり心が軽くなる。抜かりがちであった丁寧さを今一度振り返る必要があると感じた。

そして、8人で一つの模擬授業を作り上げ発表するプログラムでは、準備が1時間という短時間にも関わらず、なんとか形あるものにこぎ着けることができ、教員の連携が生み出す力のすさまじさを肌で感じた。経験年数が豊かな教員は、生徒に対する問いかけや話し方で、なるほどこういう言葉がけがあったのかと感心させられる知恵をたくさん提示してくれたし、経験年数の浅い私も、視覚教材や板書の仕方ですし役に立つことが出来た。それぞれが持っている技量は違っているも、目指すものはただ一つ。「どうすれば生徒にうまく伝わるか」である。良い授業を作るためには、もっと自分が聞けば良いということを学んだ。協力が生み出す授業の質の高さを目の前にして、同じ職場でありながら独りよがりなところがあつた自分を恥ずかしく感じた。ワークショップ終了時に、それぞれが感想を言う機会があり、私は以下のような言葉を述べさせてもらった。「ああ勉強になったな、で終わらせた

はない。ここで感じたこと、学んだことをこれからの授業で実際にやってみて、失敗しながら自分の形にもってきたい」。

今まで、いろんな研修会に参加するたびに、「実践」をしてきた。「これはうちの学校ではできそうにないな」「うちの生徒にこんな活動は無理だ」などと自分勝手に決めてしまっただけ、何も始まらない。特に今回のワークショップでは、即座に使える小技や、総合学習や道徳の時間に、生徒に「生き抜く力」をつける授業を自分たちが実際に体験して学習することができた。冒頭に述べさせていただいた「気持ちの良い疲れ」を、これからどうやって自分の形にしていくかが私の課題である。この夏休みに、生徒に沢山の課題を出したが、私自身の課題も山積み用意されているようだ。長い教員人生、遅いスタートはない。このワークショップで得た「気持ち・驚き・再発見」を「生徒に実践」していくことから始めていこうと思つた。そして、このような有意義かつ楽しい未だかつて経験したことのないワークショップのワークシヨップを開催していただいたことに、心から感謝の意を述べたい。本当にありがとうございました。



日韓 ショート ステイ

2007.8.4~13

青少年・L.C.I.F・市民奉仕・児童奉仕委員長
北川 涉

今春、韓国354-D地区の次期総裁、趙南吉氏より「336-A地区と青少年の交流を図っては」とのお話を頂き、高知キャビネット対応を進めることに決定。韓国側の窓口は、姉妹地区青年交流委員長の金貴煥氏で、協議を重ねた上で8月4日～13日の10日間ショートステイを実施致しました。

メンバーは13才～22才迄の女性5名・男性3名の計8名で、8月4日高松空港で迎えました。三翠園での歓迎セレモニーでは、お互い自己紹介をし、女子学生による代表挨拶がありました。その中において、小遣いの中から皆で出し合ったとの話で、新潟地震のお見舞いを受け取るといった、心温まる一コマもありました。中には不安げな面持ちの子供もいましたが、バーベキューを開んでの歓迎会では、ハンゲル語に

英語、日本語と飛び交い、徐々に緊張もほぐれて各ファミリーへと解散していききました。

最初の3日間はそれぞれの家庭のスケジュールで生活し、4日目は高知桜ライオンズクラブの皆様の御厚意により、細木環境保全委員長宅で、日本の伝統文化である茶道と華道を学び、結構なお手前で有意義な時を過ごしました。

さて、今回のメイン行事である「よさこい鳴子踊り」です。2日間の練習の末、10日の本番は衣装もバッチリ決まり、第1・第2会場では堂々たる踊りっぷりを見せましたが、あろう事か移動中の事故により、その踊り子隊は中止となってしまったのです。一旦は残念な思いをしましたが、幸運にも翌日、三谷地区ガバナーの配慮により、すべての踊り子隊が集結して競い合う会場のビップ席に招かれ、熱気溢れた鳴子踊りを存分に堪能してもらいました。最終日は、安芸の「内原野陶芸館」において、タンブラーのサンドブラスト加工と、手ひねりで、各人が個性あふれる力作を生みました。

帰国後に寄せた子供たちの感想文中に「楽しい日々であった」との文字にホッとする思いをしたものです。

最後に今回の事業に携わって頂いた関係者の皆様に深く感謝し、明年「日韓友好親善締結20周年」を迎えるに当たって、今回の青年交流を通じ、また新たな友好の和が拡大することを期待いたします。





高知から帰り

鄭 鉉 祐

2007年の夏は私の生涯に初めて日本に行く機会を得ました。

初めは、心配もしましたが、時間が迫るにつれて期待と興奮をかくしきれなかった。シーティー空港ターミナルでライオンズの派遣学生である兄達と姉達とライオンズクラブの委員長に会い皆で仁川空港に向かいました。

親と離れるのが初めてだが兄達と姉達と一緒にしたので別に心配にはなりませんでした。委員長と別れて兄達と姉達と30分間の自由時間だったので私は方々を歩き見物しながら12番ゲート近くでトルコ伝統のアイスクリームを食べました。初めて食べるトルコアイスクリームは韓国のと異なって餅のように粘り気がありました。30分後に私は兄達と先に飛行機に乗っていました。姉達は後から飛行機に乗りました。

高知に到着して日本のライオンズクラブの会員の方達と私の日本の親が来てくれました。日本の親は私の祖母さまのように、笑い声が親しみを感じ私が10日間の日本の生活が楽しくできる予感がしました。

初めはその方達が年を取った様でしたのでおばあさま、おじいさまと呼びましたが時間が経つに連れてその方達が余りにも親切に世話をして下さいましたので、言葉が通じなくても全然不便なく生活することが出来ました。

私は高知城を見学して日本の建築芸術を見ることが出来ました。本当に立派に建てられた城でした。韓国の景福

宮とは異なった感じがしました。それぞれの国が建物を建てる様式が少しずつ異なることを知りました。

日々が経つに連れて知らずの内に兄弟たちとも親しくなり楽しく過ごしました。初めの内は私が一番年が若いのでごちなさに話しても掛けられませんでしたが、男達と一緒にあったことが幸いであつたかわかりません。

いよいよお祭りが迫って鳴子を持って鳴子踊りの踊りと歌を習いました。2日間一生懸命に習い磨き上げた実力を発揮しました。初めの日に3番目の踊り場に行く途中で事故が起こりました。致し方なくチームは解散するようになりしました。

私達はみんなが熱心に準備したのに実力発揮も出来ずに終わりましたことが残念に思いました。それに今度の事故がお祭りの開始以来初めてのことです。しかし鳴子踊りを習う時の思い出は私にとって永遠に忘れられません。

つぎの日には私達は陶器を作る為に内原野陶芸館に行きました。ガラスのコップに模様を入れるガラス工芸を習ってから、昼食を食べた後に陶芸器を製造することにしました。

韓国でも陶器を造ってみたいことがないが造り方は大差がないように見えました。大人達の言うことに依りますと韓国のものは粗悪だが仄かな感じであり、日本のものは華麗で繊細であるとのことでした。私は灰皿に似たものを造りましたが型がよくないので出来上がりが心配です。

遊園地にも行ったり、動物園に行ったり見ました。とても面白かったです。しかし私の考えでは韓国のエバレンドの方がよりよいように思いました。多くの日を送り日本を離れようとしたら名残惜しさと日本のお母さまに感謝の心が浮びだします。

言葉も不自由な私に心安すく過ごせる様に心を配りながら、食べ物や山作って戴きましたことにこの報告書を通じて御感謝申し上げます。

そしてこの様な機会を下さいましたライオンズクラブにも感謝致すと同時にまたの機会があればもう一度参加したく思います。

この度のプログラムの進行に苦勞なさいました委員長にも感謝申し上げます。



「ありがとう」ハガキ

『ありがとうはがきメッセージ企画』 についての報告とお礼

青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長
北川 渉

今年の4月頃のことですが、日本郵便(株)四国支店(前郵政公社四国支社)とのご縁があり、3361A地区(前)八幡浜キャビネットに表題の要請がありました。時期の問題で次期の高知キャビネットがお引き受けをいたしました。

【主旨と実施内容】

IT化が進み現代の子供たちは「はがきや手紙」を使つての通信手段をほとんど使わなくなり、このままでは『日本のふみ文化』が失われてしまうのは…との懸念と、さらには教育現場における「優しさ・思いやりを持った教育」に対し、学校の先生と生徒との間も『ありがとう』と書かれたはがきの交換で子供たちの健全育成に資することができればとの期待で発案され、又、私たちライオンズクラブの奉仕活動の柱になっている青少年の健全育成支援に願つてもない事業であり、各クラブで主旨に賛同できるクラブが応募していただいた次第です。

はがきの交換は、生徒1名に2枚のはがきを使用して、まず、夏休みに生徒より先生に感謝のはがきを出して、頂いた先生が生徒に感謝のはがきを出し返す方法です。対象の学年は小学校の規模により3年から4年生75,000人(学校により学年は問わず)を対象として、また生徒数の少ない学校では全学年を対象として実施をしていただきました。

夏休みに入るまでの7月中頃には参加の小学校に、はがきが届いてなければならず、実施説明や応募までの日程にまったく余裕

が無く応募される各クラブさんには大変お世話をおかけいたしましたことをお詫びいたします。

皆さんのおかげをもちまして、3361A地区4県で下記に表す大変有難い数字となりました。

- 賛同いただいたライオンズクラブは、155クラブ中、121クラブ
- 参加小中学校は1,028校の内、589校参加
- 参加小学生は46,890人
- 今回の使用されたはがきの枚数は93,780枚

9月の13日～18日までの期間に日本郵便(株)四国支社で当初より計画していただきましたがきの審査に賛同いただいた学校より応募してもらつた優秀なはがきの選考を行い以下の賞が発表されました。

- 個人最優秀賞 1点 高知県1
- 個人優秀賞 5点 香川県2 愛媛県3
- 個人佳作 20点 徳島県4 香川県4 愛媛県10 高知県2
- 学校最優秀賞 1点 徳島県1
- 学校優秀賞 3点 香川 愛媛 高知県各1

各賞は副賞と表彰状で、表彰状は『感動をありがとう』のタイトルで日本郵便(株)四国支社長とライオンズクラブ国際協会3361A地区ガバナートとの連名で行われました。

今回は時間の無いなかで、皆さんに多大にご協力を頂き、又この様な事業が各地域でできました事を私自身大変うれしく思い心より皆様にお礼申し上げます。

最後に、日本郵便(株)・私達ライオンズクラブに執りましても、この企画は初めての試みでありながらも、大きな成果を挙げる事ができました。これも多くの学校のご協力、そしてそれぞれの地域のライオンズクラブの皆様のご尽力あつての賜物です。本当にありがとうございました。



初月小学校にて



今夏、ライオンズクラブ様と日本郵政公社四国支社が共催で実施した「ありがとうのメッセージ」企画は、お陰さまでご賛同いただいた学校数は589校を数え、約4万7千人もの生徒の皆さんが、先生と「ありがとう」のキャッチボールを行うことができました。心より感謝申し上げます。

本企画は、ライオンズクラブ様のご協力を得て、初めて実施した施策ですが「子どもたちの「創造力の育成」、「ありがとう」で結ぶ先生と生徒の絆」、「ふみ文化の拡大」に大きく貢献することができたと同時に、先生と生徒の心の絆が深まったのではないかと考えています。

平成十九年十月一日、郵便事業株式会社が発足いたしました。今後とも地域の発展のため全力を尽くしたいと考えております。

引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

郵便事業株式会社 四国支社長 奥 公彦



うたづLCC認証状伝達式

● 2007年8月25日(土)
● ホテル セント・カテリーナ宇多津

8月25日、三谷智省地区ガバナーより国際協会からの認定状を頂きました。四国で164番目のクラブとして「うたづライオンズクラブ」が新しく誕生しました。会員一同光栄に思い大変喜んでおります。

宇多津町は人口一万八千人、面積8平方キロメートル、小さい面積に大勢の人が住んでおり、その昔、室町幕府より細川頼之を迎え讃岐の都とされ、また6月には宇夫階神社千二百年祭が執り行われ古い歴史のある町であります。

一方では瀬戸大橋開通と期を同じくして塩田跡地の開発により新しい町が発展しております。新しいもの古いものが混在する中、今また新しく「うたづライオンズクラブ」が誕生したのであります。

認証伝達式の感激とこれまで指導してくださったスポンサークラブの丸亀ライオンズクラブの皆様、また関係諸兄への感謝を忘れることなくライオンズの精神をよく理解し「We Serve」のもと社会奉仕に精進致します。どうかこれからも、うたづライオンズクラブにご指導、ご鞭撻賜りますようお願い致します。

5R-1Z うたづライオンズクラブ

会長 近藤 幹郎



地区から25万人目のメルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF) 献金者誕生

LCIF

LIONS CLUBS INTERNATIONAL FOUNDATION

今治LC会員・瀬野和博さんは、2月にLCIFに1,000ドル献金を行いました。なんと25万人目のMJFとなりました。3年前にライオンズ会員となった彼はこれまでもLCIF献金会員でありました。我が地区は昨年のLCIF献金上位20地区の中に含まれています。

瀬野さんは「日本のライオンたちはCSFIIの為にあらゆる努力を払っており、私もそれに参加出来て幸せです。私が25万人目のMJFになれたなんて大変名誉なことです。CSFIIはライオンズクラブにとって大変重要なキャンペーンだと了解していますので、私の所属するクラブがCSFIIのモデルクラブであることを誇りに思っています」と語りました。

彼の所属するクラブはCSFIIの期間中に会員一人当たり500ドルの献金を約束したモデルクラブであり、延べ92人がMJFとなっています(会員数は63人/2007年1月末)。第1回の視力ファースト・キャンペーンで集まった資金の大半はMJFによるものでした。

MJFはLCIFのバックボーンであり、財団の収入の70%を占めています。人道的行為を顕彰するMJFは、LCIFに1,000ドル献金を行った会員、あるいは献金者が指定した個人に対して授与されます。この賞はLCIF最高の荣誉です。MJFには魅力的なラベル・ピン、バッジ、それに祝いの書状が贈られます。

ライオンズクラブ国際協会の創設者であるメルビン・ジョーンズにちなんで名付けられたこの称号は1973年に創設され、1986年には累進MJFがスタートしました。累進MJFは100のレベルがあり、LCIFに対して追加の1,000ドル献金をするごとに上がります。現在世界には43,400人の累進MJFがいます。

MJFは国際大会で開催される昼食会で顕彰され、国際本部のMJF室にあるコンピューターの寄付者名簿に氏名が記載されます。

LCIFは世界中で奉仕活動を行うライオンズを支援しています。個々のLCや地区が、独力で資金を募るには大きすぎる人道的奉仕事業を行なう時

に、その取り組みを支援して交付金を拠出します。LCIFは各LCが地域社会並びに世界中に影響を与える活動を支援します。LCIFを通じて、LCは世界中の人々の苦痛や被害を和らげ、癒しと希望を与えています。

(ライオンズクラブ国際協会ホームページ LCIFニュースから引用)



瀬野和博さんご夫妻

THE Lion 10月号に掲載されています!!

ふるさと探訪 四万十市 (四万十ライオンズクラブ)

「やっとさー」がこだまする 阿呆の波は池田から (阿波池田ライオンズクラブ)





アクティビティ紹介

ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラム 2007年8月 徳島ワークショップ開催される

336-A地区

ライオンズクエスト運営委員会

委員 坪井詔一

336-A地区 9R-3Z

鴨島ライオンズクラブ

ライオンズクエスト特別委員会

委員長 多田 徹

◆徳島で初めて開催することになった
公募型ワークショップは、8月24日(金)・

25日(土)の両日に涉り徳島県中央部の吉野川市、吉野川市立鴨島第一中学校の会議室を会場に青少年育成支援フォーラムの外川澄子ライオンズクエスト認定講師を中心に教職関係者9名、県内ライオン3名(阿波・藍住・北島各1名)、県外ライオン5名(伊予土居3・今治サチング2)そして共催ライオンズクラブ徳島藍ライオン7名の計24名の参加をいただき実施することができた。両日ともに厳しい暑さの中ではあったが、参加者全員が暑さを忘れ、熱心に学習活動に集中していた。このことは講師の指導が良かったうえに、参加者一人ひとりが真剣に取り組んだからにはほかならない。

初日に、初めて顔を合わす参加者、しかしコミュニケーション手法などによりすぐ打ち解けた雰囲気生まれ、

その後は参観者の存在などまったくて意に介せず、講師の指導よろしく非常に積極的に参加され、意欲的な意見の交換発表などが行われ会場が熱気に包まれた。

2日目ともなると、昼食後休むことなく模造紙に向かって課題に取り組み参加者の姿は、ライオンズクエストのプログラムのよさを裏付けていたように感じられた。

終盤は、各班テーマに沿った課題研究と模擬授業の実践などが行われ、無事終了した。

公私ともご多用の中、本ワークショップ開催会場にお越しいただき、参加者に対し激励のことばをいただきました9RC中川勝雄(徳島西)、336-A地区ライオンズクエスト運営委員長北川涉(高知東)両ライオンに深く感謝とお礼を申しあげます。



◆今年2月にワークショップ開催を決定し、徳島藍ライオンズクラブ(前会長山本久美子、会長 山地信子)と所属する鴨島ライオンズクラブ(前会長 市村通夫、会長 富本忠男)は、開催準備を進めてきたが、8月に入った段階で当初予定していた参加者人数に及ばず開催実施が危ぶまれたが、最終的に両ライオンズクラブの役員により何とか開催できるめどがたった。

この間、学校訪問を繰り返しつつ、数々の課題も見えてきた。当初からある程度予測はしていたことであったが、やはりライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムの認知度が低く、またライオンズクラブの活

動等のPRがどのように受け止められていたか等の課題も感じた。しかし、ありがたいことに初対面の私たちに對し、ライオンズクラブの会員としての立場を理解していただき、学校長をはじめ多くの関係者に話を聞いていただきただけでも良かったと感謝している。最終的には教職関係者に理解していただき目標参加者数までつなげることができなかったことは、私たち委員会としての力不足を痛感している。

学校現場の現状把握、日程の決め方またアプローチ等の手法等について今後開催時の課題としたい。



第10回

「楽しい」親子木工教室」開催



受付風景



教室風景



マルニ専務挨拶

南国ライオンズクラブでは、夏休みの恒例行事である、「楽しい親子木工教室」を南国市大塚「からくり創造工房」前で8月19日(日)開催いたしました。今年も、当会が主催、南国市教育委員会後援、ホームセンターマルニ様協賛でおこないました。この催しは青少年の健全育成や子供の持つ創造力の育成と親子での協同製作を通じ、家族のふれ合いの醸成を図ることを目的として開催しているもので、今年で10年、第10回目を迎えました。

晴天に恵まれ、午前7時ホームセンターマルニ竹村明専務、楠瀬淳司本部長、イベント担当様ら10名、当会より田中智会長、新谷幹事、西尾青少年委員長ら19名が集まり会場の準備を始めました。

午前8時を過ぎると、夏休みのこの木工教室を楽しみにしている子供達が集まり始めました。

事前に南国市内の13の小学校から教育委員会を通じて参加者を募り、小学生が54名、ご家族を含むと100名以上120名ほどの参加者となりました。

受付では徳久衛さん、戸梶純子さんや中澤康夫さんが笑顔で子供達を迎え、参加賞のかわいいデイズニアアニメキヤラクターがプリントされている「アルミスポーツボトル」や「釘・木工ボンド」をプレゼントしました。参加者は毎年見られるご家族の方が沢山いて、本当に皆さんが楽しみにしてくれているのだなと実感でき、私たちもわくわくしながら8時30分の開会式を待ちました。

開会の時間となり、当会会長田中智及びホームセンターマルニ専務取締役竹村明様より開会の挨拶がおこなわれ、ホームセンターマルニの楠瀬淳司さんより、道具を使うことの少ない子供達へ「ノコギリの使い方はまっすぐ手前に引くときに力を入れるんですよ、金槌は最初はひとさし指をまっすぐあてがうようにやるとうまくいきますよ」と説明がありました。

事前に各コース、低学年(1・2年)は木切れを組合せ動物や置物などを作る。中学年(3・4年)は船や自動車など動くおもちゃを作る。高学年(5・6年)は自由作品を作るというテーマを知らせていましたので、家で設計図を書いてきている子供達もいました。

マルニさんが用意してくれた、木の材料には、球型のものがあつたり、木の枝や流木、かんなくずなどがあり、そばで見ている想像力をかき立てられました。南に設営されている電動工具の前には、自分の思いどおりの曲線や形にするために子供達の列ができ、ホームセンターマルニのスタッフが汗だくで木を加工したり、父兄が出席できなかつたところには当会メンバーが手助けをしたりして、だんだん、カブトムシや熊、机などの作品が出来てきてきました。

また、今年が高知新聞社社長総局から池本記者が取材に来てくれ、8月20日(月曜)の朝刊に写真入りで掲載されました。

12時から審査をおこない、たくさん

の作品のなかから特に素晴らしい作品に優秀、優良、アイデア賞が選ばれ当会田中会長から賞品が渡されました。

PRライオンズ情報委員長/河村寛



マルニ様協力スタッフ



会長挨拶



新聞社取材風景



8/20 高知新聞



第二年度を迎えた

ホタルいっぱい運動



GRIZZ 神山LC

実行委員長 小川 一清

愛媛県伊予市中山ホタル保存会のご指導ご支援を得て、昨年初挑戦した、わが神山ライオンズクラブのホタルいっぱい運動は、第二年度を迎えた。昨年七月二十九日、最初の幼虫放流河川である青井夫谷川では、その後、台風等大雨の到来なく、天候に恵まれて順調に育ち、昨年より十日以上早く五月中旬に入って飛び始めた。六月に入るとその数も増え、取り組みの成果が顕著に出た。

本年は、昨年来の良好な気象条件に加えて、各河川でのカワニナの大量発生が相まって、自然発生したホタルも数多く見受けられた。上角谷川・左右内谷川・鬼籠野谷川を中心に、町内各地で予想をはるかに上回る数のホタルが飛び交い、見物に訪れた長内外からの客も昨年以上に見受けられた。第二年度に入った今年の取り組みとしては、五月下旬から六月中旬にかけてオスとメスの成虫の捕獲作戦を展開した。

青井夫谷川を除く、飛んでいるすべでの河川で、午後八時頃から、遅い日は十一時頃まで実行委員共々積極的に取り組んだ。昨年の経験を生かし、飼育容

器も増やし、交尾からたまご、幼虫のふ化へと進め、第二回目の放流を実施した。

炎天下の七月十八日(水)午前九時三十分、神領大久保の乳イチョウ駐車場に、地元住民はじめ、クラブ会長や町担当職の方々見守る中、参加いただいた、神領小学校五年生児童二十八名が勢揃いし、約三十分間、ホタルの一生とわがクラブの取り組み内容を説明した後、十時から、大久保谷川の堰堤下流に、バケツに入った幼虫と芝に、エサのカワニナに合わせて、クレソンをまとめて放流した。

台風直後で水量多く、後日の育成に不安を残したが、無事育ってくれることへの願いと祈りを込めながらの放流であった。続いて、場所を移動し、神領東野間に今年から借上げた増殖用の水田に移り、あぜ道から満水した田に向け、一斉放流を行った。参加した児童たちは、初めての体験であり、「元気に育ち来年はたくさんきれいに光ってほしい」など、口々に話しながら、にぎやかに楽しく放流ができた。

この体験を夏休み中の宿題の一つと

して、作文に書き提出していただくよう約束してくれた。今回放流した幼虫は、昨年に比べ、約六割程度と数は少な目となったが、クラブとして初めて試みた水田への放流が成功し、昨年に続き、新しい場所でのホタルの乱舞が、より広い地域で見られるのではと、来年への大きな期待が寄せられている。

何故、水田を放流増殖用地として選んだのかについては、好立地に加え、周囲の環境条件が極めて良好で、年間を通して低温で質の高い水量多く、台風時等の水害を受けることが少ないところに注目したからです。地主の方はじめ、水利関係者の皆様のご好意に対し、紙面を通じて深く感謝申し上げます。

また、本年は、神山温泉を会場に、現地でのホタル観賞をスケジュールに入れて、六月八日に、ブラザークラブ会員はじめ、ライオンズ関係者を招き、初のホタル例会を開催した。

六月十日には、クラブ会員の同窓会が開かれた機会に、ホタルいっぱい運動の取り組み説明と、現地へのホタル観賞会を開いた。大勢の方々に、昔なつかしい無数のホタルの、幻想的光景を楽しんでいただき、交流を図りながら、神山の良さをアピールすることが出来た。

来年以降は、町内関係団体との、共催協力体制を整えつつ、年中行事として定着できる、ホタルまつりを立ち上げ、町内外交流の一大イベントに育って行けるよう、取り組み予定。初心忘れることなく、今後の取り組みの大黒柱とし

て、ホタルそのものを増やす運動と共に、沢山のホタルが住める、良好な自然環境づくりにより、重点をおいて進めて参ります。

〜里の自然よよみがえれ〜



借上田へ幼虫・カワニナ・クレソンを放流する
神領小学校児童
(H.19.7.18)



24時間テレビ

24年目の継続!

6 R I I Z 高知柏LC 会長 高木 義夫

2007年8月18日(土)、19日(日)猛暑の中、24時間テレビ『愛は地球を救う』が第30回を迎えました。このチャリティキャンペーンに高知柏ライオンズクラブは第6回から活動を共にし、今年で24年目の継続アクティビティとしています。

黄色いTシャツの「胸のデザイン」とメインテーマが毎年変わり、いつも新しい夢と感動、ドラマを生み出しています。この事は、会長や執行部が交替するライオンズクラブの運営に通じるものがあり、継続理由の大きな要素でもあります。

クラブアクティビティとしてスタートした1983年のテーマは「君は地球のボランティア! アフリカ飢餓緊急援助! 世界コミュニケーション記念」です。世界的アーティスト達が参加した楽曲「ウィー・アー・ザ・ワールド」が大ヒットしたのはその2年後でした。

ライオンズクラブとして、日本の片隅でこれ程グローバルな募金活動に、単独参加できた喜びは今でもメンバー内で語り継がれます。

今年が高知県で950万円、全国で10億円という大きな金額が集まり、掲載写真のように、高知市の中心商店街「高知大丸前(帯屋町)会場」では、冷房無しの街頭ブースで三谷地区ガバナー(高知柏LC所属)が深夜まで汗を流しました。高知県のメイン本部「イオン高知ショッピングセンター会場」では午前10時より午後8時まで、交代で募金を受け付けます。

感謝のお辞儀を来場者全員に示す為、翌日は腰痛に悩まされますが、家族参加の小学6年生から82歳の高齢メンバーまで、若者に大人気!原宿系ブランド「ベイシングエイブ」デザイナーの黄色いTシャツで訪れた募金者を歓迎しました。笑顔の裏で過酷な24時間態勢のアクティビティなので、深夜・早朝は若い年齢の他団体や、RKC高知放送のテレビ局スタッフさんをお願いしています。

地元のTV番組、新聞記事では、チャリティスタッフとしてのクラブ紹介や、募金贈呈を大きく取り上げていただき、高知県では素晴らしいPRとなっています。これからもメディアを活用した奉仕活動を大事にし、ライオンズムの昂揚に励んで参ります。



Anniversary Ceremony

5 R I I Z 三豊LC
結成35周年記念式典

日時：2007年10月21日
場所：三豊市・朝日亭

1973年観音寺ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、現在64名の会員で奉仕活動を行っています。記念式典には、観音寺市長、三谷地区ガバナー、姉妹クラブの335J地区S A E 晋州ライオンズクラブ(韓国)他多数の来賓、ライオンが出席。総出席者216名の心からの祝福を得て盛大に35周年記念式典が行われました。

奉仕活動としては、今年で34回となる保育所餅つき奉仕、毎年100万円を超える予算の青少年健全育成事業、国際交流として韓国晋州ライオンズクラブとの16回にわたるY E 事業など輝かしい活動がおこなわれています。

35周年記念事業は、視力ファーストIIにモデルクラブとして4万ドル、三豊市にA E D (心肺蘇生装置) 4台、三豊市スポーツ少年団支援事業など総額660万円が寄贈されました。

曾根猛会長は、「この35周年を契機に初心に帰り、国際協調、未来志向、多様化社会に適応するクラブ運営、一層地域社会に貢献できるよう努力していく所存です」と決意を述べられました。地域社会に良く溶け込みなくてはならぬ奉仕団体として活躍されている姿に感動し、今後の益々の発展を一同祈念して杯を高々とあげ、祝福しました。

キャビネット副幹事 北村聡幸

8 R I I Z 阿波勝浦LC
結成30周年記念式典

日時：2007年10月21日
場所：上勝町ふれあいセンター

徳島市内から、山間部へ車で約1時間。途中くねくね道の狭い箇所もあり、こんな所にLCがあるのだろうか?と不安も覚えたが、「パツ」と視野が広がりが清流沿いに会場らしき建物が見えてきた。木を活かした温もりを感じる会場である。徳島県副知事はじめ来賓の方々、ブラザークラブの仲間が見守る中、厳かに式典が執り行われた。記念事業の紹介があり、地元小学校の植栽整備や病院前の庭園作り等、会員が丸となって智恵と汗を流す地域に密着した取り組みに感銘を受けた。

記念祝宴は、隣接する「月ヶ谷温泉」で開催された。地元産の食材をふんだんに使い、竹の器や木の葉を使った彩りの演出が見事で更に食欲を増すものだった。それもその筈、ご当地は今やマスコミ等でも大きく取り上げられている「葉っぱビジネス」で高齢者が元気旺盛な町なのだ。80歳でパソコンを使い受注業務をこなしたり、月収50万を稼ごうとあちやんがいたり、「高齢化・過疎化なんのその」と、元気を貰える町である。また、「ゴミ処理費ゼロ」という画期的な実績を持つ町でもあり、地域住民が「公德心」に溢れ、「智恵や工夫」を産み出す土壌が育っていることは、阿波勝浦LCが30年前にこの地に産声を上げ、会員の皆さんが、地道にまた継続的に、地域住民と共に数々の奉仕活動に取り組んできたことの成果の現れではないかと思えるのである。

キャビネット幹事 高橋光男



10月に入り涼しい秋風が吹くようになった10月4日、バイクに乗って南宇和ライオンズクラブを訪問しました。学生時代からバイクが好きでツーリングで全国各地を回りましたが、還暦を迎えた今でも天気の良い時にはバイクでぶらりと出かけています。

先月、1972年製のBMW R75-5を手に入れました。知人が35年間大切にしてきたビンテージバイクR75-5を手放すことを知り無理言って譲ってもらいました。乗る人間も60歳を越えたのだからバイクも骨董品が良かろうと思ってのことでした。

このバイク製造されて35年経ってはいますが、さすがドイツ・バイエルンの魂と云われるだけあって、今でも現役バリバリで100kは軽く越えて走りそうです。

実は以前から3R16クラブのうち昼間の例会訪問はバイクで回ろうと思っていたので、このバイクの試乗も兼ねて愛南町に行くことにしました。

しかし南宇和LCは距離が一番遠くてそれに乗り馴れていないバイクでもあり少し不安もありました。

朝9時に大洲を出発して宇和町を過ぎるころには、体の方もバイクに馴染んで調子が上がってきました。由良半島あたりになると海岸線の素晴らしい景色に鼻歌交じりとなり、風と一体となってバイクを駆けると2時間余りで例会場のサンパールに無事到着しました。

例会に参加してみて南宇和LCの会員数は31名ながら、多くの奉仕作業とその内容の充実はずばらしいものがあると感じました。

Riding RC

バイクに乗って例会訪問

3R-RC 濱田 耕造



例会終了後みなさんとバイク例会訪問の記念撮影を済ませてから、ライオンズ奉仕デー「御荘湾清掃奉仕作業」に参加しました。南宇和LCの呼びかけに集まった各団体約60名のみなさんと御荘湾の中でゴミの集まる場所4ヶ所に別れての清掃作業を行いました。

帰りは昔よく釣りに通った由良半島まで足を伸ばして思い出にひたったり、津島町の「やすらぎの里」で足湯に浸かったりして久しぶりのロングツーリングを満喫しました。

前号の訂正

① 前号(2007・第59巻)P29のクラブ周年行事予定は、次のように訂正させていただきます。

R	Z	クラブ名	周年行事予定日	周年行事名	行事開催場所
2	2	今治くるしま	2008年4月18日(金)	15周年記念 記念例会	今治国際ホテル
			2008年4月20日(日)	15周年記念 記念講演会	グリーンピア玉川

② 前号(2007・第59巻)の特別寄稿P31、1段目29行の内閣は貴族院と訂正させていただきます。

特別寄稿

光と闇

5RRC 森 忠資

太陽の光に感謝

私は還暦の平成元年のある日突然緑内障と診断され、手術を受ける破目になりました。医師に「緑内障は眼圧の異常で視神経が壊死する病で、手術をしても進行を止めるだけで治るわけではなく、場合によっては失明の恐れもある」と脅され、失意のどん底に突き落とされた様な気がしたものでした。

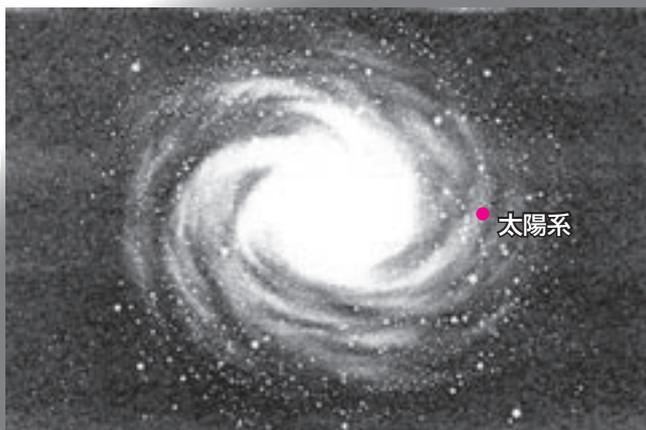
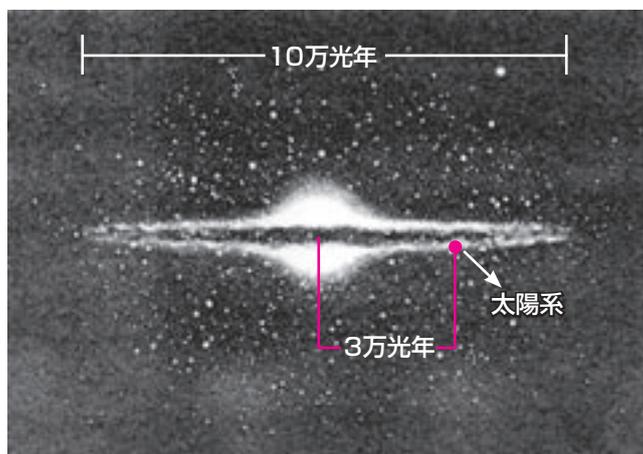
手術が終わり、眼帯で暗黒の世界に身を投じた時、不安・失望・恐怖等に苛まれ、ともすれば自暴自棄になるうとする自分と葛藤する日々を過ごした折、ヘレン・ケラー女史の「ライオンよ盲目者の騎士になれ」と言

った悲痛な叫びが脳裏をよぎりました。今迄朝起きると「今日もいい天気だ」と見えるのが当たり前だったのが、見えないとこんなに不自由なものかと思ひ知らされました。

弘法大師誕生の地、善通寺の本堂の下に通り抜けの地下道があり、そこに入ると一寸先も見えない漆黒の闇を経験する事が出来ます。空海や最澄などの高僧も断崖の岩窟の中で、光も水も糧も断って修業をしたのでしよう。昔の親は子供を躾けるのに押入れに閉じ込め、改心する迄出さなかつた。子供にとって体罰や暴力などより、余程体にこたえた事でしょう。

国際協会では25周年（クオーター

天の川銀河予想図



Profile

もり ただし
森 忠資



[経歴]

- 1928 昭和3年10月17日生
- 1974 観音寺LCに入会
- 1983 // 幹事
- 1991 // 会長
- 1993 地区年次大会 副委員長兼事務局長
- 1993.12月 観音寺中央LCに移籍
- 1994 観音寺中央LC 認証状伝達式 大会委員長
- 1996 // 会計
- 1997 9R PR・ライオンズ情報大会参加委員
- 1999 336-A地区 9R-2Z ZC
- 2007 // 5R-RC



年)に全世界の盲人に白い杖を贈りました。50周年にはLCIFを創設し75周年にはCSFが実施され、日本は大変良い成績をあげて国際本部を驚かせた様です。『夢よもう一度』という事で今回CSFIIの最終年度になり、ライオンズの視力保護に対する並々ならぬ決意が何われ、目を患った者として立派な成績を達成する事を願っております。

宇宙の中の地球

入院中私が大変落ち込んでいると、隣の老人が色々話をしてくれました。「一眼二足」という言葉があり、先ず眼で相手の状況を把握し、次に足を使って優位な所に移動するのが剣道の基本です。動物も眼で餌を見つけて、足でそこまで行って食べて生きているので、失明すると動物は即死を意味します。貴方ももし目が見える様になったら宇宙の事を少し噛つてみなさい。少しは楽になるよ」と言われましたので、興味を持って少し勉強してみました。

地球は太陽系の中で唯一生命を営む美しい水の惑星です。太陽系には水金地火木土天海冥(冥王星は惑星から外れ小惑星)の惑星が太陽の周

りを回っています。宇宙があまりにも大きいので100億分の1に縮小しゴルフ場を借りて説明しますとまずゴルフ場のグリーンの中央にピン(旗)があると下下さい。太陽は直径が139万8千kmですから100億分の1だと14cmで、ソフトボール位の太陽がカップ上にあるとします。ピンより5.6mの所に水星(0.5mm)一粒の砂位です。次に10mの所に金星(1mm)、15mの所に我が地球(1.3mm)があります(仁丹より小さい)。22mに火星(0.5mm)、78mに木星(1.4cm)でパチンコ玉位、140mで土星(1.4cm)同じ位、280mで天王星(4mm)、460mで海王星(4mm)がいます。惑星から外れましたが冥王星は600m。ロングとショートホールを合わせた位の所に0.3mmですからよくも見つけたものと思います。光は秒速30万kmで、お月さんまで1秒少して行く光が太陽を出て地球まで到達するのに8分20秒かかり、冥王星に達するには6時間もかかります。

この広い太陽系も、実は天の川銀河という1千億個の恒星の集団の中の一つに過ぎないのです。宇宙にはこの天の川銀河の様な星の集団が約1千億あると言われているので、宇宙の星の数は1千億×1千億の恒星

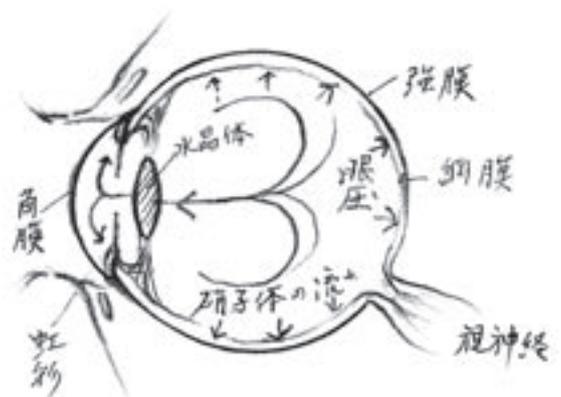
が存在する事になります(1のお尻に0が22もつく)。兆の1万倍に京という単位があり、京の1万倍に垓という単位があるので、宇宙の星の数は100垓(兆の100億倍)という事になります。そしてあまりにも大きい宇宙に比べ、あまりにも小さい地球の中で人間は何故争いを繰り返しているのでしょうか。大国のエゴか、人間のエゴか、自分の国の国益や個人の金儲けが優先し、他はどうでもいいという個人主義の人が多いのか。文明の利器を使い自然や森林を破壊し大気を汚染してまで、人類だけが豊かな生活をして果たして良いのだろうか。私は疑問を感じます。ライオンズの環境保全委員会も奉仕活動として大いに活躍して頂きたいと思います。

ポーランドが生んだ偉大な天文学者コペルニクスはこう言っています。「人間は宇宙の真理に迫れば迫るほど、人間の自己中心的(個人主義)な考えが薄れてくる」。蓋し名言といえます。入院中に老人が「宇宙に関心を持って」と言った言葉が今になって解る様な気がしています。

ライオンズの皆さん、宇宙の真理を探究して大きな気持ちになって奉仕活動に取り組んでいただきたいと願っております。



眼球内は透明な硝子体(房水)で眼圧は15mHgが正常です。硝子体は1日に1cc製産され1ccが血管に出るので15mHgに保てるが、出口に障害があると眼圧が上昇し網膜を圧迫して失明します。これが緑内障です。



336-A地区会員現況

(入退会は累計・2007年9月30日現在)

R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	9月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	9月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	9月末			
1	1	松山ホスト	46	3	1	48	4	1	高松	53	2	1	54	7	1	高知鷹城	58	0	3	55			
		久万	27	1	1	27			小豆島	47	0	0	47			室戸	35	1	3	33			
		松山東	47	0	1	46			小豆島東	35	1	2	34			高知鏡川	57	5	1	61			
		砥部	36	1	0	37			高松葵	34	0	1	33			高知南	34	0	3	31			
		松山つばき	50	0	2	48			高松南	33	0	0	33			高知よさこい	39	2	0	41			
		松山城山	38	0	0	38			高松愛	18	0	0	18			土佐国府	31	3	3	31			
	ゾーン合計	244	5	5	244	ゾーン合計		220	3	4	219	ゾーン合計	254		11	13	252						
	2	2	松山道後	60	0	1		59	4	2	高松東	62	0		1	61	7	2	高知黒潮	74	2	3	73
			伊予	53	1	2		52			高松西	25	8		0	33			高知黒桂	61	1	0	62
			双海	14	0	0		14			直島	28	0		0	28			高知中央	46	0	3	43
松山西			49	3	1	51	八栗	35			1	0	36	高知安芸	33	1			0	34			
松前			19	0	0	19	高松源平	46			0	2	44	高知りょうま	40	2			0	42			
松山北			36	0	0	36	高松中央	23			2	0	25	ゾーン合計	254	6			6	254			
松山湯築		31	0	0	31	ゾーン合計	219	11		3	227	土佐山田	29	1	3	27							
松山城東		31	0	0	31	東かがわ	41	1		1	41	土佐本山	19	1	1	19							
ゾーン合計		293	4	4	293	長尾	62	1		2	61	南国	36	1	2	35							
3		3	北条	34	0	0	34	4		3	志度	57	3	1	59	3		3	土佐香南	37	0	2	35
	松山中央		85	2	1	86	三木さぬき		40		0	0	40	大豊	19		0		0	19			
	松山南		42	0	0	42	高松グリーン		27		6	2	31	ゾーン合計	140		3		8	135			
	東温		34	0	0	34	ゾーン合計		227		11	6	232	リジョン合計	648		20		27	641			
	松山金亀		45	2	0	47	高松玉藻		50		3	1	52	徳島	30		0		2	28			
	松山白鷺		58	0	0	58	高松栗林		66		1	1	66	小松島	31		0		1	30			
	ゾーン合計	298	4	1	301	高松屋島	57		0	2	55	徳島南	45	1	0		46						
	リジョン合計	835	13	10	838	高松紫雲	65		0	2	63	徳島北	19	0	0		19						
	1	1	新居浜	67	0	1	66		4	4	高松空港	32	0	2	30		1	1	阿波勝浦	38	1	1	38
			新居浜中央	53	1	1	53				高松北	26	2	3	25				徳島すだち	39	1	0	40
新居浜別子			35	0	0	35	ゾーン合計	296			6	11	291	ゾーン合計	202	3			4	201			
新居浜ひうち			47	0	2	45	リジョン合計	962			31	24	969	徳島中央	26	4			0	30			
ゾーン合計			202	1	4	199	丸亀	95			1	2	94	石井	24	0			1	23			
今治			63	0	4	59	坂出	44			2	1	45	徳島城山	49	2			5	46			
2		2	今治中央	61	7	0	68	1		1	坂出白峰	49	1	0	50	8		2	上板	43	1	1	43
			今治東	63	2	2	63				綾歌郡	29	1	0	30				徳島吉野川	34	4	0	38
			今治くろしま	60	0	0	60				丸亀京極	63	0	1	62				土成	35	1	0	36
			今治サーチング	28	2	1	29				うたづ	0	45	0	45				ゾーン合計	211	12	7	216
	ゾーン合計		275	11	7	279	ゾーン合計		280		50	4	326	阿南	62		1		4	59			
	伊予三島		42	1	1	42	観音寺		39		3	0	42	日和佐	29		1		1	29			
	3	3	川之江	56	1	1	56		5	2	善通寺	46	0	0	46		3	3	徳島東	39	5	0	44
			伊予土居	41	2	0	43				多度津	40	0	1	39				徳島マリニア	54	3	1	56
			伊予三島法皇	40	2	0	42				三豊	66	0	2	64				阿南リパティ	33	0	1	32
			川之江中央	31	2	0	33				こんぴら	42	0	0	42				ゾーン合計	217	10	7	220
ゾーン合計			210	8	2	216	観音寺中央	27			3	0	30	リジョン合計	630	25			18	637			
西条			51	3	1	53	ゾーン合計	260			6	3	263	リジョン合計	540	56			7	589			
4		4	東予	43	0	0	43	1		1	高知	48	0	1	47	1		1	徳島眉山	38	0	0	38
			伊予小松	20	1	2	19				高知柏	69	7	1	75				鳴門	58	3	0	61
			西条石鎧	59	0	0	59				高知東	59	0	2	57				藍住	49	0	2	47
			ゾーン合計	173	4	3	174				高知北	40	1	0	41				板野	34	0	0	34
	リジョン合計		860	24	16	868	高知桜		40		0	0	40	松茂徳島空港	30		1		0	31			
	大洲		49	0	0	49	高知とさみずき		21		1	0	22	鳴門西	27		0		0	27			
	1	1	宇和	31	1	1	31		6	2	ゾーン合計	277	9	4	282		9	2	北島	54	4	1	57
			伊予長浜	19	0	1	18				須崎	57	3	4	56				ゾーン合計	290	8	3	295
			内子	32	2	2	32				伊予野	31	1	1	31				阿波池田	38	2	1	39
			野村	30	1	1	30				佐川越知	30	1	1	30				脇	37	0	1	36
ゾーン合計			161	4	5	160	中土佐	24			0	1	23	三加茂	25	0			1	24			
八幡浜			39	1	0	40	ゾーン合計	194			5	9	190	半田	28	2			0	30			
2		2	三瓶	17	2	0	19	3		3	四万十	49	0	0	49	3		3	徳島西	38	1	2	37
			伊方	40	1	0	41				土佐清水	53	2	1	54				鳴門島	40	0	1	39
			保内	33	0	2	31				宿毛	30	0	1	29				阿波	45	3	3	45
			八幡浜みなと	53	1	1	53				窪川	26	1	3	24				徳島国府	25	2	0	27
	ゾーン合計		182	5	3	184	大の方		29		3	1	31	神山	26		3		0	29			
	宇和島		40	2	3	39	大正		14		0	0	14	徳島藍	33		0		0	33			
	3	3	伊予吉田	32	2	1	33		3	3	ゾーン合計	201	6	6	201		9	3	ゾーン合計	207	9	6	210
			宇和島中央	33	0	3	30				リジョン合計	672	20	19	673				リジョン合計	625	21	12	634
			南宇和	30	1	0	31				高知	48	0	1	47				総合計	6318	219	137	6392
			鬼北	40	0	1	39				高知柏	69	7	1	75								
津島			28	0	1	27	高知東	59			0	2	57										
ゾーン合計			203	5	9	199	高知北	40			1	0	41										
リジョン合計		546	14	17	543	高知桜	40	0		0	40												

※2007年7月1日施行新リジョン番号にて表記しています。



①岡 健市(82歳)
②4R-2Z伊野
③1977年7月
④2007年6月2日



①橋詰 正大(74歳)
②8R-3Z土佐香南
③1978年5月16日
④2007年5月20日



①環 武晴(75歳)
②5R-1Z徳島
③1960年4月1日
④2007年5月17日



①小川 謙次(63歳)
②3R-4Z高松紫雲
③1980年6月11日
④2007年5月7日



①西木 静夫(73歳)
②4R-3Z長尾
③1997年2月
④2007年7月18日



①住吉 恒夫(90歳)
②2R-3Z川之江
③1961年11月16日
④2007年7月15日



①土佐 利秋(90歳)
②8R-1Z小松島
③1963年4月20日
④2007年7月14日



①二見 豊(78歳)
②3R-2Z高松東
③1965年6月25日
④2007年6月28日



①曾我部 吉正(73歳)
②1R-2Z松山西
③1999年11月
④2007年8月15日



①東 孝男(76歳)
②3R-3Z津島
③1991年10月1日
④2007年8月10日



①安部 志郎(51歳)
②1R-1Z松山東
③2006年1月17日
④2007年8月8日



①磯崎 道雄(80歳)
②5R-2Z三豊
③1990年3月
④2007年7月24日



①高橋 正義(76歳)
②9R-3Z阿波
③1928年10月
④2007年9月15日



①瀬尾 昭夫(82歳)
②4R-3Z長尾
③1990年4月
④2007年9月9日



①中村 薫(78歳)
②4R-4Z高松紫雲
③1970年3月8日
④2007年8月24日



①溝淵 博(77歳)
②4R-1Z高松
③1958年10月22日
④2007年8月20日

物故会員

慎んでお悔やみ申し上げます
①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日



(2007年5月1日～9月30日)

編集・後記



年度当初の大事な行事であるガバナー公式訪問も無事終えて、今回はガバナー基本方針を元に各RC様のリジョンに対する一年間の思い、活動方針などについて原稿をいただき掲載しました。

多くのクラブより会報を発売ごとに送っていただき感謝です。クラブアクトとして掲載すべきところ紙面にかぎりあり、数点となったことをお詫びいたします。

特別寄稿は5RC 森忠資様をお願いいたしました。

表紙を飾る写真は「一年に一度しか渡れない橋」。なんだかもったいない気もしますが、子供を守ってくれる神様なので子供達がたくさんの夢と希望をもって参拝する姿を目に浮かべるとき、小島の守り神も満悦の笑顔で心待ちにしているのではないかと…。

今後とも皆様の作品の投稿をお願いいたします。

地区誌編集委員会(M)

視力ファーストⅡキャンペーン

視力ファーストによって、
既に多くの人々が救われています。
彼らの喜びと感謝の思いをご紹介します。



ぼくのおばあさんは、わかいときに河川
失明症で目が見えなくなりました。だから、
いつもお母さんがおばあさんのお世
話をしています。

おばあさんの小さいころは、このこわい
病気にかかる人がたくさんいたそうです。
でも、ライオンズの人たちがメクチザン
という薬を持ってきてくれたので、いま
ではもう目が見えなくなる人はいません。
ほんとうによかったです。ライオンズの
みなさん、どうもありがとう。

(メキシコ・バリオブrazil)



わたしのおじいさんは、このまえ、ライ
オンズの病院で白内障という病気をなお
してもらいました。

病院へ行くライオンズのバスに乗るため
に、とても遠くまで歩いたけれど、ほん
とうによかったと思います。

おじいさんは病院で手術をしてもらっ
て、目が見えるようになりました。

目が見えるようになってから、おじい
さんはいつも、「ライオンズの行いに神さ
まのご加護がありますように」と言って
います。わたしも、いつもそうお祈りし
ています。

ライオンズのみなさん、ほんとうにどう
もありがとう。これからもがんばってく
ださい。

(インド・パラコール)

いっぱいのおりがいとうを
みなさんにお届けします。

◆第54回地区年次大会

大会スローガン

燃えたぎる よさこいと龍馬のところで ウィサーブ

土佐のお客をおもてなしする心で皆様方をお待ち申し上げます。

●2008年 4月12日(土)・13日(日)

●高知県立県民文化ホール ●三翠園

2007～2008年

ライオンズクラブ国際協会

336-A地区 高知キャビネット事務局



We Serve

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1-3-35三翠園6F

TEL 088-826-6830 FAX 088-826-6840

E-mail : kochi48@lc336a.gr.jp

URL : <http://www.lc336a.gr.jp/>